# Fantastic Fashion Sewing Machine

# 取扱説明書

# 機種名: FFH-8000



このミシンを安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」をご使用の前に必ずお読みください。 「取扱説明書」は手元に保管し、末長くご活用ください。



このたびは、ハッピージャパンミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

このミシンは、直線ぬいやジグザグぬいはもちろん、ホームソーイングに必要なぬいが簡単にできる家庭用コン ピュータミシンです。

このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「取扱説明書」をよくお読みください。

「取扱説明書」をお読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

## 安全にご使用いただくために

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。 危害や損害の程度を表す表示の意味と内容は以下のとおりです。



お願い 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項です。誤った操作によるトラブルを防 ぐために、必ずお読みください。

i お知らせ 操作上の重要な参考情報や補足説明です。スムーズに操作していただくために、必ずお読み ください。

メモ 操作やその他の補足説明です。

「取扱説明書」で使用されている図記号の意味は次のとおりです。

S	してはいけない内容です
0	実行しなければならない内容です
Ŷ	感電の危険があります
	分解してはいけません
	電源プラグを抜いてください
	火災の危険があります
	水に濡らしてはいけません
	気をつけていただく内容です
	針の下に指を入れないでください

$\bigcirc \mathbb{A}$	1. 一般家庭用交流電源 100 V以外では使用しないでください。感電・火炎の恐れ があります。	
ØŞ	<ul> <li>2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。感電・ 火災の恐れがあります。</li> <li>・ミシンのそばを離れるとき</li> <li>・ミシンを使用したあと</li> <li>・ミシンを使用中に停電したとき</li> <li>・ミシンのお手入れをするとき</li> <li>・ミシンを移動させるとき</li> <li>・ミシンが正常に作動しないとき</li> <li>・雷が鳴りはじめたとき</li> </ul>	
⚠ 注意 ▫	<b>蒸電、火災、ケガなどの原因となります。</b>	
$\bigcirc$	<ol> <li>以下のようなところには置かないでください。故障や火炎の原因になります。</li> <li>温度が著しく高くなるところ</li> <li>温度が著しく低くなるところ</li> <li>屋外や直射日光の当たるところ</li> <li>油煙や湯気の当たるところ</li> <li>湿気やほこりの多いところ</li> </ol>	
$\bigcirc$	<ol> <li>直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンなど温度の高くなるもののそば、 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。ミシンの内部部品や電源 コードの被膜が溶けて、感電・火災の原因となります。</li> </ol>	
$\bigcirc$	3. スプレー製品などを使った部屋では使用しないでください。可燃性ガスへの引 火によるやけどや火炎の原因となります。	
$\odot$	<ol> <li>ミシンが傾いたりぐらついたりするような不安定な場所には置かないでください。倒れたり、落下するとケガの原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。</li> </ol>	
$\bigcirc$	5. コンセントや配線器具の定格を超えるようなたこ足配線はしないでください。 感電や発熱による火災の原因となります。	
$\bigcirc$	6. 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。	
Â	7. 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、 感電や発熱による火炎の原因となります。傷んだプラグ・差し込みの緩いコン セントは使用しないでください。	
Â	8. 電源プラグを抜くときは電源スイッチを切り、プラグを持って抜いてください。 電源コードを持って抜くとコードが傷み、感電・火災・ショートの原因となり ます。	
	9. 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的にふき取ってください。プラグにほこ りがたまると絶縁不良となり、火災の原因となります。	

$\bigcirc$ A	10.電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください(傷つける、加 エする、加熱する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、たば ねるなど)。破損したまま使用すると、感電・火災・ショートの原因となります。 電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめ、お買い上げの販売 店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
$\bigcirc$	11.電源コードは、赤いマーク以上引き出さないでください。 断線の恐れがあります。
0 L	12.長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグを抜いてください。通電した 状態で放置、保管すると、絶縁劣化・ろう電などにより火炎の原因となります。
	13.袋類は、お子様がかぶらないように、お子様の手の届かないところに保管する か廃棄してください。誤ってかぶると窒息の恐れがあります。
$\bigcirc$	14.お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるとき、お子 様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
0	15.ミシンを移動するときは、不用意に持ち上げたり、動かしたりしないでください。 腰や膝を痛める原因となります。
	16.ミシンを持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つと、 壊れたりすべって落としたりして、ケガや故障の原因となります。
	17. ミシンに水をこぼしたり濡らしたりしないでください。感電・火炎の原因となります。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラ グをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」 にご連絡ください。
	18. ミシン本体のすきまに異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしない でください。感電・ケガ・故障の原因となります。万一、針などの異物が入っ た場合は、使用をやめてお買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」 にご連絡ください。
	19.別売り品や交換部品は、必ずハッピージャパン指定のものをお使いください。 指定外のものを使用すると、ケガ・故障の原因となります。
	20.お客様ご自身での分解、改造はしないでください。感電・火炎・ケガの原因と なります。取扱説明書に記載されている以外の点検、修理、調整、掃除は、お 買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご依頼ください。
0-5,	21.取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、 電源プラグを抜いてください。ケガ・感電の原因となります。
	22. ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、ハズミ車、天びんなどす べての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
0	23.針や押えを交換するときは電源スイッチを切るかロックボタンをタッチしてミシンをロックし、取扱説明書の説明にしたがって確実に固定してください。取り付けを誤るとケガや故障の原因となります。
0	24.上糸や下糸をかけるときは、取扱説明書の手順にしたがって正しく行ってくだ さい。糸かけが正しくないと、縫製中に糸がからんで、針が曲がったり折れた りして、ケガの原因となります。

$\bigcirc$	25.曲がった針や先がつぶれた針は使用しないでください。針が折れてケガの原因 となります。
	26.糸や針は、取扱説明書にしたがって布地に合ったものをお使いください。デニ ム地などの厚めの布に細い針を使うと、針が折れてケガの原因となります。
$\bigcirc$	27.押えは、取扱説明書にしたがって正しい模様や設定でお使いください。誤った 模様や設定では、針が押えにぶつかって折れる恐れがあります。
	28.針の下に指などを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
	29.縫製中に布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガや針折 れの原因となります。
0	30.シームリッパ―で穴を開くとき、リッパ―の先端に手や指を置かないでくださ い。すべったときにケガをする恐れがあります。
$\bigcirc$	31.フットコントローラーの上に物をのせないでください。ケガや故障の原因となります。
	<ul> <li>32.ミシンやフットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。そのまま使用すると感電・火炎の原因となります。</li> <li>・正常に作動しないとき</li> <li>・落下などにより破損したとき</li> <li>・水に濡れたとき</li> <li>・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき</li> <li>・煙が出たり、異常な臭いや音がするとき</li> <li>・中に異物が入ったとき</li> </ul>

- ●ハッピージャパンは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、 デザインまたは、付属品を予告なく変更することがあります。
- ●ミシンをご使用になる方(お子様を含む)が、身体・知覚・精神的能力になんらかの障害を持つ場合、 あるいは経験や知識が十分でない場合には、監督者またはミシンを安全に使え、ミシンの危険を理解 している人のもとでのみ使用してください。
- ●このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。 This sewing machine is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- ●職業用としてご使用になった場合は保証をいたしかねますので、ご了承ください。
- ●「取扱説明書」の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- ●「取扱説明書」の内容は必要に応じて予告なく変更することがあります。
- ●「取扱説明書」の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら別掲の「お客様 相談係」にご連絡ください。

# 目次

第1章 お使いになる前に6
各部のなまえ6
低温の場所から出したときは
ミシンカバー・補助テーブル・付属品
ミシンカバー
補助テーブルの開け方9
補助テーブルの取り外し方
フリーアームでぬう9
付属品1C
ルーペのご案内(別売り品)11
取り付け方11
取り外し方12
大型テーブルの使い方12
各部のはたらき13
A. スタート・ストップボタン(お知らせランプ)…13
B. 返しぬいボタン13
C. 針上下/クイックスローボタン13
D. 糸切りボタン13
E. スピード調節つまみ13
F. 押え上げレバー13
G. ドロップフィードレパー14
H. 押え圧ダイヤル14
ハズミ車の使い方14
A. 実用ぬいホタン15
B. 助り模様・乂字ボタン
し、メモリー読み出しホタン
U. 刀1 ト小ダノ
E. 基本ぬい小ダノ
F. ロック小ダン
G. ホームホタノ
1. 戻るホタン
1. 改定がタン
フィー ホタンの使いり
ユンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシン

第2章	ミシンの準備	19
-----	--------	----

電源の入れ方	19
フットコントローラーの使い方	19
膝上げレバーの使い方	20
下糸の準備	21
ボビンの取り出し方	21
下糸の巻き方	21
ボビンのセット	23
上糸の準備	24
上糸のかけ方	24
糸通しの使い方	26

押えの取りかえ方と押えホルダーの取り外し・	取り
付け	27
押えの取りかえ方	27
押えホルダーの取り外し・取り付け	28
糸と針の選び方	29
針の取りかえ方	30

第3章 実用ぬい	31
横様の深び方(其木丸(い・実田丸(い))	31
[[[[[[[[]]][[[]]][[[]]][[[]]][[]]][[]	
▲中心(10) 使体の送り方	
模様の調整(模様設定画面の使い方)	32
ぬい目のふり幅/長さ	32
反転/伸長	33
自動糸調子	34
基本的なぬい方とコツ	36
基本的なぬい方	36
返しぬい	37
自動止めぬい・自動糸切り	38
ぬい方向の変え方	39
厚地のぬい始め(段ぬい押えボタンの使い方)	39
段ぬい	40
糸切りボタンを使わないとき	40
下糸を長くとってぬい始めたいとき	40
いろいろなぬい方	41
地ぬいなどの直線をぬう(直線ぬい)	41
自動返しぬい付直線ぬい ( 🚺 )	42
薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする(画	目線
用交換針板の使い方)	43
標準交換針板の取り外し方	43
直線用交換針板の取り付け方	44
伸縮性のある布地をぬう(伸縮ぬい)	45
デニムなど丈夫な布地をぬい合わせる(伸縮強	闺化
ぬい)	45
手ぬいのようなキルトぬいをする(手ぬい風=	Fル
トステッチ)	46
布地をはぎ合わせる(ジグザグぬい)	46
やぶれた布地をつくろう(点線ジグザグぬい)	47
アップリケをぬい付ける	48
布地のたち目をかがる(ふちかがりぬい/たち	5日
かかりぬい)	48
楔様と押えの使い分け	48
	49
9 そ上げをする(よつりぬい/ ノラインドステッチ)	50
ボタンをぬい付ける	52
ボタンホールを作る	54
アンダーフレートの使い方	56

玉ぶちボタンホールを作る......57

ポケットロややぶれた生地を補強する(かん止め	
/つくろいぬい)	)
いろいろな装飾をぬう(実用ぬい模様を使った飾	
りぬい)61	
ファスナーを付ける(つき合わせ・脇あき)62	
つき合わせ62	-
脇あき63	)
ふち飾りをぬう(スカラップステッチ)64	·
布地をぬい合わせてパッチワークをする65	)
ピンタックをぬう66	j
アイレット(はと目穴)を作る66	j
ビニールやレザーをぬう67	1
第4章 飾り模様・文字ぬい68	)

飾り模様・文字の選び方	68
飾り模様・文字の選び方	68
飾り模様・文字の確認	70
飾り模様・文字の編集	70
編集画面の表示方法	70
モード切り替え(単独ぬい/繰り返しぬい)、	止め
ぬい/糸切り、ぬい目のふり幅/長さの調節.	71
反転/伸長	72
糸調子	73
飾り模様・文字の挿入	74
飾り模様・文字の削除	74
飾り模様・文字の呼び出し	75
ぬいあがりを確認する	75
メモリー保存と読み出し	76
選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存する	76
メモリーに保存した飾り模様・文字を読み出す	77
メモリーに保存した飾り模様・文字を編集する	78
メモリーに保存した飾り模様・文字をぬう.	78
メモリーに保存した飾り模様・文字を消去する	79
飾り模様・文字のぬい方	80
基本的なぬい方	80
ぬい終わりのモード切り替え(単独ぬい、単	主独
止めぬい/単独糸切りぬい、繰り返しぬい)	81
いろいろな飾り模様・文字ぬい	84
ぬい目の形の調整	91

キルティング押えのご案内(別売り品)	92
取り付け方	
ぬい方	
上送り押えのご案内(別売り品)	93
取り付け方	
ぬい方	93

め	刺しゅう機のご案内(別売り品)	
59	取り付けの準備	
飾	刺しゅうモードの概要	94
61	取り外しの注意点	94

## $\frac{2}{3}$ 第6章 お手入れ方法/困ったときには…95

お手入れ方法	95
ミシン表面、ミシンカバーの掃除	95
ボビンケースの掃除	95
外がまと送り歯の掃除(針板の取り外し・取り	J
付け)	95
困ったときには	97
お知らせメッセージ	97
トラブルシューティング1	01

03
23
)9
18
22
23
23

# 第1章 お使いになる前に

ます。ミシンの電源を入れる前に必ずお読みください。

お使いになる前に

## 各部のなまえ

ミシンの各部の名称を説明します。各部の詳細については、参照先のページを確認してください。

ミシンの各部の名称やはたらき、付属品についてなど、ミシンを使う前に知っておいていただきたいことを説明し



- 18. 糸通しレバー(26 ページ)
   19. 押え圧ダイヤル(14 ページ)
   20. ルーペ取り付け穴(11 ペー ジ)
- 21. ボタンホールレバー (55, 57, 60 ページ)
- 22. 押えホルダー(28ページ)
   23. 段ぬい押えボタン
- 23. 反砲い升んがタン (39 ページ)



B

Ð

Ф

-16

24. 針棒糸かけ(25, 26 ページ)
25. 糸通しのガイド(26 ページ)
26. 針(29, 30 ページ)
27. 押え(27 ページ)
28. 送り歯(14 ページ)
29. ボビンカバー(21 ページ)
30. 針止めネジ(30 ページ)
31. 押え上げレバー(13 ページ)
32. 標準交換針板(43 ページ)
33. 針板(95, 96 ページ)
34. 交換針板ストッパーレバー (44 ページ)
35. ボビンカバー解放レバー (21 ページ)



- 36. 模様一覧 \*1 (103 ページ)
- 37. 下糸巻き案内(22 ページ) 38. 糸かけ(22 ページ)
- 39. 糸かけ(22, 25 ページ)
- 40. 天びん (内部) (25 ページ)
- 40. 入び70(内部) (25 ペー) 41. 糸調子調節装置(内部) (25 ページ)
- 42. 糸巻き押え(21, 22, 24, 25 ページ)
- 43. 糸立て棒(21, 24 ページ)
- 44. フェルト (21, 24 ページ)
- 45. ボビン受け(22ページ)
- 46. 糸巻き糸切り(23 ページ)
- 47. 糸巻きストッパー(22ページ)
- 48.糸巻き軸(21 ページ)
- \*1 トップカバーの内側にありま す。トップカバーは手前に指 をかけ、上に引き上げて開け てください。



49. ハンドル
50. 刺しゅう機接続口
(94 ページ)
51. 電源スイッチ(19 ページ)
52. 電源プラグ・コード
(19 ページ)
53. フットコントローラー接
続口(20 ページ)
▲ 注意:ケガ防止のために;
ミシンを持ち運ふときは、必す

ハンドルを持ちます。他の部 分を持つと破損する恐れがあり

ます。また、すべって落とすな

どして、ケガをしたり、ミシン

が破損したりする恐れがありま



- 54. ドロップフィードレバー (14 ページ) \*2
- \*2 ドロップフィードレバーは、 補助テーブルを取り外して操 作します。



## 低温の場所から出したときは

低温の場所から出したときは、普通の温度になじむま で、しばらく置いてください。 時間がたてば正常に作動するようになります。 保管は、なるべく寒いところをさけてください。



お使いになる前に

す。

# お使いになる前に

1

## ミシンカバー・補助テーブル・ 付属品

ミシンカバー、補助テーブル、付属品、付属品の収納 場所の使い方を説明します。

## ◆ミシンカバー

ミシンを使わないときは、ミシンカバーをかぶせてお きましょう。 ミシンカバーのポケット③には、この取扱説明書を収 納できます。

#### お願い



## ◆補助テーブルの開け方

補助テーブルには、付属品が収納されています。



- ③前フタ : テーブルの左側に指をかけ、手前に倒します。
   ⑤トレイ : トレイの上下に付属品が収納されています。
   ⑥つまみ : トレイはつまみを持ち上げて取り外しま
  - す。 @後フタ : テーブル左後方の凹部®に指をかけ、引 き上げます。

## ◆補助テーブルの取り外し方

テーブルの左下に指をかけて、左に引きます。 取り付けは、テーブルのツメ③がミシンに入るように 合わせ、右にすべり込ませます。



## ◆フリーアームでぬう

補助テーブルを取り外すとフリーアームのミシンになります。 袖口や肩口の始末、ズボンのすそのまつりぬいをする

ねらに肩凸の丸木、ノ ときに便利です。

まつりぬいについては 50 ページの「すそ上げをする(まつりぬい/ブラインドステッチ)」を参照してください。



## ◆付属品

付属品はおもに補助テーブルの中に入っています。

押えには、わかりやすいようにそれぞれアルファベットの記号がついています。(直線押え、レザー押えを除く) また、このミシンには、フットコントローラー(19ページ参照)や大型テーブル(12ページ参照)も付属しています。





## 🕥 ルーペを動かして、針もとが見やすい位置に ルーペの使い方 調節します。 ルーペを使えば、針穴に糸を通すときなど、針もとを拡 大でき見やすくなります。 ▲ 警告 : ケガ防止のために; ルーペで太陽を見ないでください。失明の危険が あります。 ∕ �� 注意:火災を防ぐために; ルーペを太陽光の直接当たる場所に放置しないで ください。火災の原因になります。 ようときは邪魔にならないよう、ルーペを面 板横に移動しておきます。 🚺 お知らせ ルーペが取り付けられているときは、糸通し(26ペー ジ参照)は使用できません。 ◆取り付け方 🌒 ルーペのつまみを持って、軸を面板左下のルー ペ取り付け穴に差し込みます。 軸がつきあたるまでしっかり差し込んでください。 《取り付け穴 ∕ ♪ 注意:ケガ防止のために; ルーペを見ながらのぬい作業は危険です。 軸 必ずミシンが停止した状態でお使いください。 つまみ

1

お使いになる前に



## 各部のはたらき

ミシンの各部のはたらきを説明します。



A. スタート・ストップボタン(お知らせランプ) 1度押すとスタートし、もう1度押すとストップ します。ぬい始めはゆっくり動きます。 また、スタート・ストップボタンには、ミシンの 状態を知らせるお知らせランプの機能があります。 ミシンの状態によって点灯する色が変わります。

- **緑の点灯**: ぬいや下糸巻きをスタートできる状態です。
- **赤の点灯** : 以下に当てはまるので、ぬいをス タートできません。
  - 模様を選んでいない
  - 押えやボタンホールレバーを下 げていない
  - ・ロックが作動している

#### ( お知らせ

- ボタンホール、かん止め、つくろいぬいの場合2~3針ぬって止まります。(54 61 ページ参照)
- ランプが緑でも上糸が正しくかけられていないときや、上糸がなくなったときは、安全装置が働いて数針分動いて停止します。糸を正しくかけ直してください。
- ロックの解除方法については、17 ページの「ロッ クボタンの使い方」を参照してください。

#### B. 返しぬいボタン

このボタンを押している間、返しぬいを低速でぬ います。放すと止まります。詳細については、37 ページの「返しぬい」を参照してください。

## C. 針上下 / クイックスローボタン ● ミシンが止まっているとき:針上下ボタン

ミシンが止まっているときにこのボタンを押すと、 針の位置が上下に切りかわります。ぬい終わった ときや、ぬいをストップしたときの針の停止位置 は変わりません。

#### () お知らせ

ぬい終わったときや、ぬいをストップしたときの針の停止位置は、設定によって変わります。 詳しくは、32ページの「針停止位置」を参照し てください。

**ぬっているとき: クイックスローボタン** ぬいの途中で1度押すと、スピードがゆっくりに なります。もう1度押すと、もとのぬいスピード に戻ります。

#### D. 糸切りボタン

ぬいの終わりにこのボタンを押すと、上糸と下糸 を同時に切ります。

#### お願い

番手が30番以下の太い糸やナイロン糸など特殊 な糸には、糸切りボタンを使わないでください。 これらの糸を切る場合には、ミシン左側の面板 糸切り⑧をお使いください。(40ページ参照)

#### E. スピード調節つまみ

右にスライドさせるとぬうスピードが速く、左に スライドさせるとゆっくりになります。

#### F. 押え上げレバー

このレバーで押えの上げ下げをします。押えが上 がっているときは、ミシンはスタートしません。(下 糸巻きを除く)



③ミシン正面

**し**ミシン背面

⑥送り歯

ミシン後ろ側の針板の下にドロップフィードレ バーがあります。このレバーで送り歯の上げ下げを します。

後ろから見てレバーを右にすると、送り歯が針板の 上に出てきて、布を送ります。通常は、この位置に しておきます。

レバーを左にすると、送り歯が針板より下がり、布 を送りません。キルティング押え(別売り品:92ペー ジ参照)を使って曲線ぬいをするときなど、布を手 で操作するときには、この位置にします。

また、別売りの刺しゅう機(94ページ参照)を使って刺しゅうぬいをするときにも送り歯を下げます。



送り歯が上がる



送り歯が下がる

H. 押え圧ダイヤル



このダイヤルを回して押えの圧力を5段階に調節 できます。

○:弱い ○○○:普通 ○○○○○:強い

通常は、〇〇〇にしておきます。 ダイヤルは、押えを下げてから回します。 押え圧を変えてぬった後は、〇〇〇に戻しておいて ください。

## ハズミ車の使い方

ハズミ車を手前に回すと針が上下します。1 針ずつぬい 目を送るときなど、針を手動で上下に動かしたいとき に使用します。 針が上位置にあるときは、ハズミ車のマーク@も上に きます。

#### お願い

ハズミ車は必ず手前に回してください。反対方向に 回すと、糸がからむ原因となります。



## ホーム画面の使い方

ミシンの電源を入れると、案内窓にホーム画面が表示 されます。この画面には、ミシンを操作するためのい ろいろなメニューがあります。



#### A. 実用ぬいボタン

実用ぬい模様を選びます。使い方は 31 ページの「実用 ぬいの模様の選び方」を参照してください。

#### B. 飾り模様・文字ボタン

飾り模様・文字を選びます。使い方は 68 ページの「飾 り模様・文字の選び方」を参照してください。

#### C. メモリー読み出しボタン

選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存することがで きます。このボタンをタッチして、保存した飾り模様・ 文字を読み出します。使い方は、77 ページの「メモリー に保存した飾り模様・文字を読み出す」を参照してく ださい。

#### D. ガイドボタン

下糸巻き、下糸のセット、上糸かけ、押えの取りかえ方、 交換針板の取りかえ方の手順を確認できます。使い方 は16ページの「ガイドボタンの使い方」を参照してく ださい。

#### E. 基本ぬいボタン

実用ぬいの中でよく使われるぬい(基本ぬい)を直接 選ぶことができます。使い方は 31 ページの「基本ぬい の模様の選び方」を参照してください。

#### F. ロックボタン

ロックボタンを使うと、ミシンの電源を入れたまま、 フットコントローラーの取り付け・取り外し、押えと押 えホルダーの取り付け・取り外し、針の取り付け・取り 外し、上糸・下糸の糸かけができます。 電源を切らないので、設定した飾り模様・文字のふり幅 (針位置)、長さ、糸調子、伸長/反転の設定を保持した まま、操作ができます。 使い方は、17ページの「ロックボタンの使い方」を参 照してください。 G. ホームボタン

ホーム画面が表示されます。

#### H. 戻るボタン

一つ前の操作手順に戻ります。

#### : お知らせ

基本ぬいボタンをタッチした後に戻るボタンをタッ チすると、実用ぬい模様の模様選択画面が表示されま す。

#### I. 設定ボタン



ミシンを操作したときの操作音やピピピッという警告 音などのブザー音、LED ライトの点灯/消灯、ぬい終 わったときやミシンをストップしたときの針の停止位 置を設定できます。

設定が終わったら、ホームボタンか戻るボタンをタッ チするとホーム画面に戻ります。

#### 】メモ

設定画面のままでミシンの電源を切ると、設定変更が 保持されません。設定を保持するには、ホーム画面な どほかの画面に移動してから電源を切ってください。

●ブザー音(操作音、警告音)

初期設定は ON です。

**ON**: ブザー音が鳴ります。

OFF: ブザー音が鳴りません。

#### 🚺 注意:ケガ、故障を防ぐために;

ブザー音を鳴らなくすると、誤った操作をしたときの 警告音も鳴らなくなります。操作には十分注意してく ださい。

## ●LED ライト

初期設定は ON です。

ON : LED ライトが点灯します。

OFF: LED ライトが消灯します。

#### ● 針停止位置

初期設定は針停止位置下です。 針停止位置は、案内窓に表示されます。詳しくは、 32ページの「模様の調整(模様設定画面の使い方)」 を参照してください。



🔰 : 針停止位置が下になります。

## ◆ガイドボタンの使い方

ホーム画面のガイドボタンをタッチします。
 ガイドメニューが表示されます。





す。



③下糸巻き

- ⑥下糸のセット
- ⑥上糸かけ
- ④押えの取りかえ方
- ⑥交換針板の取りかえ方

3 ガイドの内容を確認します。

説明がスタートします。



画面上部に表示される内容 ①選択したメニューのアイコン ⑧現在のページ/総ページ数

#### : お知らせ

ガイドの説明の再生中も、説明内容にしたがって同じ 操作をすることができます。ガイドの説明を見ながら 操作する際は、ケガをしないよう手元に十分注意して ください。

# ④ もう一度見るには、再生ボタン(■■)をタッチします。

次へボタン(➡)をタッチすると、次の説明が表示 されます。 前へボタン(◀)をタッチすると、1つ前の説明が

表示されます。



# 説明がすべて終わったら、ホームボタンをタッチしてホーム画面に戻ります。

- ・最後の説明画面では、次へボタン(▶)が表示 されません。
- ・ 戻るボタンをタッチすると、ガイドメニューに 戻ります。



## ◆ロックボタンの使い方

ロックボタンをタッチすると、ミシンがロックされま す。

ロックが作動している間は、ロックボタン以外のすべて のボタンの操作ができなくなり、ミシンが動きません。 以下の操作はミシンの電源を切って行う必要がありま すが、ミシンをロックすると、電源を切らずに行うこ とができます。飾り模様・文字のふり幅(針位置)、長さ、 糸調子、伸長/反転の設定内容を保持したまま、これ らの操作を行うことができます。 操作が終わったら、ロックを解除します。

- •フットコントローラーの取り付け・取り外し
- 押えと押えホルダーの取り付け・取り外し
- ・ 針の取り付け・取り外し
- 上糸・下糸の糸かけ

ミシンをロックする

#### ロックボタンをタッチします。

ロック作動中のメッセージが表示されます。スタート・ ストップボタンが赤く点灯します。



#### : お知らせ

- ロック作動中は、ロックボタン以外のすべてのボタンの操作ができません。
- ・ 針板、標準交換針板または直線用交換針板を取り 外しているときは、ロックボタンを使用できません。針板、標準交換針板または直線用交換針板を 取り付けてから、ロックボタンを操作してください。
- ロックが作動したままの状態でミシンの電源を 切った場合、再度電源を入れたときロックは解除 されています。

●ロックを解除する

ロックボタンをタッチします。



2 メッセージの「✓」をタッチして、ロックを 解除します。

解除をとりやめる場合は、「×」をタッチします。



## 操作の流れ

ミシンの電源を入れてからぬい始めるまでの基本的な流れは次のとおりです。各手順の詳細は説明ページを参照し てください。

#### お願い

各手順の説明ページでは、ご注意いただきたいことや行っていただきたいことを説明しています。必ずお読みに なってから操作を行ってください。



# 第2章 ミシンの準備

ミシンの電源の入れ方や糸のかけ方など、ミシンを使うために必要な準備について説明します。

## 電源の入れ方

ミシンを安定した場所に置き、電源を入れます。

 電源コードを引き出し、プラグをコンセント に差し込みます。

∕♪警告:感電、火災を防ぐために;

コードを引き出しすぎると断線の恐れがありま すので、赤いマーク以上引き出さないでくださ い。

黄色のマークが出たら、まもなく赤いマークが 現れます。







3 電源を入れると、針もとの LED ライト(3 か所) が点灯します。

案内窓にホーム画面が表示されます。(15 ページ 参照)



#### う お知らせ

- LED ライトが点灯しないようにしたり、操作音が 鳴らないようにしたり、設定を変更できます。(15 ページ「設定ボタン」参照)
- コードをしまうときは、コードを少し引っ張って、 放してください。

## フットコントローラーの使い方

フットコントローラーを使うと、足の操作でミシンの スタート・ストップ、スピードの調節ができるように なります。フットコントローラーを接続すると、スター ト・ストップボタン (13 ページ参照) は無効になります。

#### お願い

フットコントローラーは、必ず「ハッピージャパン 純正の専用品」をお使いください。

### i お知らせ

ペダルを踏むとミシンがスタートし、強く踏み込む ほどスピードが速くなります。 ペダルを放すとストップします。

注意:ケガ防止のために; フットコントローラーを接続するときは、電源スイッ チを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてか ら行ってください。

 電源スイッチを切るか、ロックボタンをタッ チしてミシンをロックします。



ミシンの準

備



🕥 フットコントローラーのプラグをミシンの

マットコントローラーを足元に置き、電源を 入れ直します。ロックを設定している場合は、 ロックを解除します。(17ページ参照)



#### お願い

- スピード調節つまみ(13ページ参照)は、最高 スピードを調節します。速くしたいときは、右に スライドさせてください。
- ・模様を選んで押えを下げないとスタートしません。
   (13 ページ参照)

#### ●タップ機能

ペダルを半分くらい素早く踏んで放すと、針が上のと きは下に、下のときは上に移動させることができます。 針の停止位置(32ページ参照)は、変わりません。

## 膝上げレバーの使い方

膝上げレバーを取り付けると、膝で押えの上げ下げが できるようになります。両手が空くため、作業がしや すくなります。

静上げレバーの凸部@を、ミシンの膝上げレバー差し込み口の凹部しに合わせて、つきあたるまで差し込みます。

#### お願い

膝上げレバーは差し込み口の奥まで差し込んでく ださい。確実に差し込まれていないと、使用中に 外れることがあります。



# 2 押えを上げるときは、膝上げレバーを膝で右に押します。

押している間、押えが上がります。 押えを下げるときは、膝上げレバーから膝を離しま す。



/ 注意:ケガ、故障を防ぐために;

ぬっている間は、膝上げレバーに触れないように注意 してください。ぬっている間に膝上げレバーを押すと、 針が折れたり、模様が崩れたりする可能性があります。

## 下糸の準備

手順に従って下糸を巻き、正しくセットしましょう。





● トップカバーを開けます。



ボビンのミゾ③が、糸巻き軸のバネ⑤に合う ように、ボビンを軸に差し込み、右に押します。
案内窓に「下糸巻き中」のメッセージ画面(97 ページ参照)が表示されます。



金が下側から出るようにして、糸巻きを糸立て棒に入れ、糸巻き押えを差し込みます。



お願い 必ずフェルトを糸巻きの右にセットしてくださ  $()_{\circ}$ 糸巻き押えは、糸巻きの大きさに合わせて方向を 変えます。

下図のような糸巻きをお使いの場合は、糸巻き押 え(小)を取り付けてください。



#### : お知らせ

通常の糸巻き押えでは、糸がスムーズに出ない ときがあります。取り付けは、糸巻きとの間に 少しスキマが空くようにして差し込みます。

④ 糸を両手で持ち、矢印にそって糸案内の後ろ からかけ、次の糸かけの下に右からかけ、上 に引き上げます。





下糸巻き案内の糸かけに後ろからかけ、案内
皿の下に左回りでかけます。



糸を奥までしっかり入れる

#### お願い

糸を案内皿の下にしっかり入れてください。 糸が奥までしっかり入っていないと、ボビンにき れいに巻かれなかったり、ボビン以外の部位に巻 き付いてしまったりする場合があります。

糸がたるまないようにしながら、ボビンに右回りに4、5回、巻き付けます。



#### お願い

糸は必ず右回りに巻き付けてください。誤って反 対方向に巻き付けると、糸がボビンに巻かれませ ん。

ボビン受けの糸案内にかけ、左回りに糸を引き、糸切りで切ります。



左回りに引くだけで、糸が糸切りにかかり切れま す。 スタート・ストップボタンを押します。



糸がボビンに約80%巻かれると、糸巻きストッパーが押され、自動的に止まります。

● 巻き終わったら、糸巻き軸を左に戻してボビンを外し、糸巻き糸切りで切ります。



糸巻き糸切りの後ろのミゾに糸をかけて切ります。

ボビンのセット







### <mark>お 願 い</mark> 糸の方向を間違えないように注意してください。

2 右手でボビンを軽く押え、左手で糸を糸案内に引っかけます。



3 ミゾに沿って、上から下に通し、右に引いて、 糸切りで切ります。



④ ボビンカバー左側のツメをミゾに差し込み、 右側を軽く押して取り付けます。



🚺 お知らせ

このミシンは、下糸を引き上げなくても、このまま でぬい始めることが出来ます。 もし、下糸を引き上げてぬいたいときは、40 ページ の「下糸を長くとってぬい始めたいとき」を参照し てください。

## 上糸の準備

手順に従って正しく上糸をかけましょう。



① 右から左にかけ、上に引き上げます。 う お知らせ 必ずフェルトを糸巻きの右にセットしてくださ  $()_{\circ}$ 糸巻き押えは、糸巻きの大きさに合わせて方向 を変えます。 下図のような糸巻きをお使いの場合は、糸巻き押え 🕦 矢印にそって右から左にかけ、下におろしま (小)を取り付けてください。 す。(中の天びんに糸がかかります。) 少し空ける  $\bigcirc$ 糸巻き押え (||)5 6 う お知らせ 通常の糸巻き押えでは、糸切りで糸が切れなかっ たり、糸調子がうまくとれないときがあります。 取り付けは、糸巻きとの間に少しスキマが空く ようにして差し込みます。 ● 針棒糸かけに右側からかけます。 針棒糸かけの正面向かって右側から糸を通し、針 棒糸かけのミゾ③に糸をかけます。 ★を両手で持ち、糸案内の後ろから糸をかけ、 矢印にそって糸かけの手前からかけ、上に引 き上げます。 A A 糸案内 **[**1 • 針棒糸かけ 1 針穴に前から通します。 糸かげ 糸通しを使う場合は、26ページを参照ください。 🕝 矢印にそって糸をかけ、左に引いていきます。 糸を右から左にかけ、矢印にそって手前にお ろします。(中の糸調子調節装置に糸がかかり ます) 7  $oldsymbol{(B)}$ 

## ◆糸通しの使い方

糸通しは、11~16番の針、50~100番の糸に使えます。

#### ∕⚠注意:ケガ防止のために;

- ・ 針の下に指を入れないでください。ケガの原因と なります。
- 糸通しレバーを下げたとき、ハズミ車は回さない でください。ケガや故障の原因となります。

#### お願い

- 透明なナイロン糸など特殊な糸を使用するときは、糸通しは使用できません。
- ルーペが取り付けられているときは、糸通しは使用できません。ルーペの詳細については、11ページの「ルーペの使い方」を参照してください。

## 1 押えを上げます。



針が下位置にあるときは、針上下ボタンで上に上 げます。

針が上位置にあるときは、ハズミ車のマークも上 にきます。



ロックボタンをタッチしてミシンをロックします。



8



 針棒糸かけに糸を通し、補助テーブルの手前 まで引き出します。

正面向かって右側から糸を通し、針棒糸かけのミ ゾ③に糸をかけます。



糸を糸通しのガイドにかけます。

針棒糸かけから糸通しのガイド③に右から左へ糸 をかけます。このとき、糸は自動的に糸保持体 し を通ります。



⑤ 面板糸切りの後ろから手前に糸をかけて切り ます。



♂ 糸通しレバーを下げます。

・ お知らせ 糸通しレバーがそれ以上下がらなくなる位置ま でしっかり下げてください。



糸通しレバーを下げると、 糸通しの装置が下がり、自 動的に糸通しを行います。



ミシンの準備



#### 🍘 糸通しレバーを放します。

針穴を通った糸が輪になっている場合は、輪を引っ 張って糸端を引き出してください。



🚯 押えの下に糸を通し、10 cm ほど後ろへ引き 出します。



## 押えの取りかえ方と押えホル ダーの取り外し・取り付け

ミシンを使っていると、押えの交換や押えホルダーの 取り外し・取り付けをする場面があります。ここでは、 その方法を説明します。

## ◆押えの取りかえ方

押えは、ぬいの種類や用途によって使い分けます。そ れぞれのぬいに適した押えについては、41ページから の「いろいろなぬい方」を参照してください。

/♪ 注意:ケガ防止のために; 必ず電源スイッチを切るか、ロックボタ ンでミシンをロックしてから行ってくだ さい。



🎧 ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。



**ましぬい** t⁴ スタート 伊え解除ボタンを押します。 押え解除 ボタン 押えが外れます。

🕗 押え上げレバーを上げます。

2 交換する押えのピンを押えホルダーのミゾの 真下に合わせます。



日 押え上げレバーを下げます。



ピンがミゾにはまります。 もし、完全にはまらないときは、押え解除ボタンを 押してみてください。



2





27ページの「押えの取りかえ方」参照

# 2 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止めネジをゆるめます。



押えホルダーが外れます。

●取り付け

O OFF

8

● 押えホルダーを押え棒の下から突き当たるまで持ち上げます。



 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止 ネジをしっかりしめます。



#### お願い

市販の大きなドライバーなどであまり強くしめ つけないでください。故障の原因となります。

## 糸と針の選び方

糸と針は、布地の種類や厚さに合わせて選びます。

#### う お知らせ

このミシンに付属している以外の針については、市販の家庭用ミシン針 HA × 1、HA × 1SP(ニット用針)を お買い求めください。

	布地の種類	糸の番	番号	針の番号	模様(直線) (33ペー	とぬい目長さ ジ参照)
薄地	薄地ジョーゼット、ボイル、オー ガンジー、タフタ、絹布など。	綿 80 絹 60 化繊糸 80	~ 100 ~ 80 ~ 100	9~11番	1 2 3 4                         • • • •	ぬい目長さ 0.8 ~ 2.5
普通地	ギンガム、ピケ、リンネル、さら さ木綿、薄手のコーデュロイ、サ テン、別珍、一般服地など。	綿 50 絹 50 化繊糸 50	~ 80 ~ 80	11~14番	1 2 3 4     W W                   • • • •	ぬい目長さ 2.0 ~ 3.0
厚地	ギャバジン、ツイード、デニム、 キルティング、コーデュロイなど。	綿 30 絹 50 化繊糸 30	~ 50 ~ 60	14~16番		ぬい目長さ 2.0~5.0
伸縮性の 布地	ダブルニット、トリコット、スパ ンデックス、ジャージなど。	化繊糸 50 絹 50 ニット用糸	~ 80	11 ~ 14 番 ニット用針	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	

## 針の取りかえ方

折れたり曲がったりした針は、そのまま使わず交換して ください。用途に合った針に変更することも大切です。

♪ 注意:ケガ防止のために; 必ず電源スイッチを切るか、ロックボタ ンでミシンをロックしてから行ってくだ さい。



## お願い

針板の上に紙や布をしいておくと、ミシンの中に針 を落とす心配がありません。

1 ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。



ハズミ車のマークが上にきます。











新しい針の平らな面を後ろにして、ピンにあたるまで差し込みます。



指で軽くネジをしめた後、付属のドライバーでしっかりしめます。



#### お願い

市販の大きなドライバーなどであまり強くしめ つけないでください。故障の原因となります。

∕♪ 注意:ケガ防止のために;

- ・ 針は、家庭用ミシン針(HA × 1)とご指定の上、 お買い求めください。
- ・曲がった針や、先がつぶれた針はご使用にならないでください。取り付け前には、針板など平らなものにのせ、のぞいてみて確かめてください。



# 第3章 実用ぬい

このミシンでは、いろいろな用途に使われる実用ぬいと、装飾的なぬいに用いる飾り模様・文字ぬいを行うことができます。

ここでは、実用ぬいの模様の選び方について説明します。飾り模様・文字ぬいの模様の選び方については、68ページを参照してください。

また、このミシンでぬえる実用ぬいの模様については、トップカバーの内側と、この取扱説明書の 103 ページ「模様一覧」を参照してください。



実用ぬい



🚯 ぬいたい模様を直接タッチします。 選んだ模様が表示されます。(32ページの「ぬい 目のふり幅/長さ」参照)





実用ぬい

## 模様の調整(模様設定画面の使 い方)

## ◆ぬい目のふり幅/長さ

模様を選ぶと、模様設定画面が表示されます。 模様設定画面には、選んだ模様のぬい目の長さとふり 幅が表示されます。

ぬい目のふり幅と長さは、その模様に最適な幅と長さ に自動設定されます。それぞれ手動で調整することも できます。



#### A模様番号

B模様のプレビュー画像

選んだ模様の設定(ふり幅、長さ、反転、伸長)に 合わせて、形状が変わります。

#### ⑦押え

選んだ模様に適した押えが表示されます。模様によっ ては、設定を変えると表示される押えも変わります。

#### ①針停止位置

設定画面(15ページ参照)で設定した針の停止位置 を表しています。停止位置によって以下のように表 示されます。

上のとき: 🕴 下のとき: ̄ ̄

#### ①止めぬい/糸切りボタン

ぬいの始めと終わりに自動で止めぬいをしたり、糸 を切ったりします。使い方は38ページの「自動止 めぬい・自動糸切り」を参照してください。

#### (F)ふり幅

模様を選ぶと、ぬい目のふり幅はその模様に最適な 幅に自動設定されます。自動設定値は緑色で、変更 後の値は白色で表示されます。+-ボタンをタッチ して、手動で調整することもできます。

#### 🚺 お知らせ

- ・最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知ら せします。(ブザー音が鳴らないように設定した 場合は鳴りません。詳しくは15ページの「設定 ボタン」を参照してください)
- ・
   模様によって最大値、
   最小値は異なります。
- 数値が表示されない模様は、自動設定値から変え られません。
- ふり幅、長さは、ぬいながら変更できます。

#### 針位置の変更

直線ぬいの実用ぬい模様1~4(¦ | | りに、ぬうときの針の位置を左右に変えること ができます。

#### お知らせ

直線用交換針板が取り付けられているときは、針 位置の変更はできません。



数値	0	3.5	7.0
針位置	左	中央	右

#### ⑥長さ

模様を選ぶと、ぬい目の長さはその模様に最適な長 さに自動設定されます。自動設定値は緑色で、変更 後の値は白色で表示されます。+-ボタンをタッチ して、手動で調整することもできます。

-

- 細かくなる

+ 粗くなる

#### 🚺 お知らせ

- ・最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。(ブザー音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは15ページの「設定ボタン」を参照してください)
- ・模様によって最大値、最小値は異なります。
- 数値が表示されない模様は、自動設定値から変え られません。
- ふり幅、長さは、ぬいながら変更できます。

#### 田設定画面変更ボタン

模様設定画面には、ふり幅/長さ、反転/伸長、糸 調子の3画面があります。ボタンをタッチして画面 を切り替えます。

- h1: ふり幅/長さボタン(32ページ)
- h2: 反転/伸長ボタン(33ページ) このボタンが表示されない模様は、反転/ 伸長できません。
- h3: 糸調子ボタン(34ページ)



模様設定画面で反転/伸長ボタンをタッチすると、反 転/伸長の設定画面が表示されます。



#### Aふり幅、長さ、糸調子

現在設定されているふり幅、長さ、糸調子が表示され ます。

ふり幅/長さについては 32 ページの「ぬい目のふり幅 /長さ」を参照してください。

糸調子については、34 ページの「自動糸調子」を参照 してください。

#### B反転ボタン

このボタンをタッチすると、模様は以下のように反 転します。初期設定は緑色で、そのほかの設定は白 色で表示されます。

#### ●左右反転

1. もとの設定(緑色の表示)

2. 左右反転

#### ●上下反転

もとの設定(緑色の表示)
 上下反転

左右反転		上下反転		
もとの設定	左右反転	もとの設定	上下反転	
Δ		$\Box$		
	$\sim$	×	¥	

実用ぬ

#### ●上下左右反転

- 1. もとの設定(緑色の表示)
- 2. 左右反転
- 3. 上下反転
- 4. 上下左右反転



#### i お知らせ

- ・模様によって反転できる向きは異なります。103 ページの「模様一覧」を参照してください。
- 反転できない模様は、反転ボタンが表示されません。
- ・反転はぬいながら変更することはできません。

#### ⑥伸長ボタン(2倍)

このボタンが表示されたら、模様の長さを2倍に伸ば してぬうことができます。ボタンをタッチするごとに 表示が変わり、画面左端の模様のプレビュー画像も同 時に変わります。初期設定の1倍は緑色で、2倍は白 色で表示されます。

- 1. もとの設定(緑色の表示)
- 2.2倍ぬい



🚺 お知らせ

- ・伸長できる模様については、103ページの「模様 一覧」を参照してください。
- ・ 伸長できない模様は、伸長ボタンが表示されません。
- ・ 伸長はぬいながら変更することはできません。

#### ①反転/伸長の設定内容

現在設定されている反転/伸長の内容が表示されます。

34 模様の調整(模様設定画面の使い方)

## ◆自動糸調子

上糸と下糸が互いに引っ張り合う力のバランスを「糸調 子」と呼びます。糸調子は、上糸の調子を強めたり弱め たりすることで調節します。この取扱説明書で説明す る「糸調子の調節」とは、上糸の調節のことを指します。

このミシンでは、模様を選ぶと、模様ごとに設定され た最適な糸調子(自動設定値)に自動的に調節されます。 自動設定値から変更してぬいたいときは、手動で調節 することもできます。糸調子ボタンをタッチして糸調 子調節画面を表示させて調節します。



#### ▲ふり幅/長さ

現在設定されているふり幅、長さが表示されます。 ふり幅/長さについては 32 ページの「ぬい目のふり幅 /長さ」を参照してください。

#### B糸調子

- ・ 糸調子の状態が数値と目盛りで表示されます。
- ・自動設定値は緑色で表示されます。
- +ボタン③をタッチするごとに糸調子が強く、-ボ タン⑤をタッチするごとに弱くなります。
- ・ 戻るボタンをタッチして模様設定画面(ふり幅/長 さ画面)に切り替えても、変えた糸調子の設定は保 持されます。
- ・模様を選び直すと、自動設定値に戻ります。
- 糸調子はぬいながら変更できます。

#### ● 自動設定値(直線ぬい)

上糸と下糸が布地のほぼ中央でまじわります。



実用ぬい
# ● 上糸が弱いぬい目 (一)

布地の裏側に上糸が出てきます。(最小値:0)



#### ●上糸が強いぬい目(+)

布地の表側に下糸が出てきます。(最大値:20)



#### 直線ぬい以外の自動設定値

直線ぬい以外の自動設定値は、直線ぬいのときより糸 調子をやや弱めにして、上糸が布の裏側に少し出るよ うに調節されます。



#### ●こんな場合は…

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル 地のようになるときは、上糸のかけ方(とくに、糸調 子調節装置への)が間違っています。24 ページの「上 糸のかけ方」を参照し、正しくかけてください。



また、糸調子が自動設定値になっているのに、下糸が 布地の表側に出てくるときは、ボビンのセットのしか たが間違っています。23 ページの「ボビンのセット」 を参照し、正しくセットしてください。



# 基本的なぬい方とコツ

中基線の直線ぬい() をぬってみます。模様の選び方は、31ページの「模様の選び方(基本ぬい・実用ぬい)」を参照してください。

#### ◆基本的なぬい方

#### 1 押えを確かめます。

(ここではジグザグ押えを使用します)



薄い布や伸縮性のある布の直線ぬいをするときに 直線用交換針板と直線押えを使うと、きれいに仕 上げることができます。

詳しくは、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布 に直線ぬいをする(直線用交換針板の使い方)」を 参照してください。

#### ( うお知らせ

押えの交換方法については、「押えの取りかえ方」 (27ページ)を参照してください。

# 全 針上下ボタンを押すか、ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。



🚯 布地を入れ、押えを下げます。



お知らせランプが緑色になります。

# ④ 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせ ます。

少しぬったら糸を放します。



ぬいながらスピードを調節できます。また、ぬい の途中で針上下/クイックスローボタンを押すと スピードがゆっくりになります。もう一度押すと 元のスピードに戻ります。



#### ▲注意:ケガ防止のために;

- ・針先に十分注意してください。
- ・ 布地は、ミシンによって自動的に送られますので、
   無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
   針が折れケガをする恐れがあります。



設定により、針の停止位置は異なります。

# 6 糸切りボタンを押します。



針の停止位置が上のときは、針が一度下がって糸 を切り、上に上がります。 針の停止位置が下のときは、そのまま糸を切り、 上に上がります。 このとき針が上に上がっても、停止位置の設定は 変わりません。

#### お願い

- ・番手が30番以下の太い糸や、ナイロン糸など特殊な糸には、糸切りボタンを使わずにミシン左側の面板糸切りにかけて切ってください。(40ページ参照)
- 布のないときや、糸を切る必要がないときに、む やみに糸切りボタンを押さないでください。故障 の原因となります。



# ◆返しぬい

ぬい目のほつれを防ぐため、返しぬいボタンを使って、 ぬい始めとぬい終わりに返しぬいをします。 (返しぬいボタンを押し続けている間、返しぬいをしま す。放すと止まります。)



② 返しぬいボタンを押し続けて、4~5針返し ぬいをします。







# ④終わりまで来たら、返しぬいボタンを押し続け て、4~5針返しぬいをします。



# ◆自動止めぬい・自動糸切り

止めぬい/糸切りボタンを1回タッチすると、模様の ぬい始めとぬい終わりに、自動的に止めぬいをします。 さらに、止めぬい/糸切りボタンをもう1度タッチす ると、止めぬいをした後、自動的に糸を切ります。

#### ● 模様を選んだ後、

- a. 止めぬいだけをしたい場合は、止めぬい/糸切 りボタンを1回タッチします。 ⑥が表示されま す。
- b. 止めぬいをして、糸も切りたい場合は、止めぬ い/糸切りボタンを2回タッチします。 ● ↓ が 表示されます。

もう1回タッチすると取り消されます。





#### 🔎 ぬいをスタートさせます。

ミシンは止めぬいをしてからぬい始めます。 スタート・ストップボタンで中断できます。 ぬいを中断して糸切りをしたあと、ぬいを再開し た場合は、ぬい始めの止めぬいから再びぬい始め ます。



- ら ぬい終わりまで来たら、返しぬいボタンを1
  回押します。
  - a.止めぬいだけの設定(④)では、止めぬいをし て止まります。
  - b. 止めぬいをして糸も切る設定(●¥)では、止めぬいをして糸を切ります。



したときは、糸切り(※)の設定だけになります。(42、

54-59、67ページ参照)

œ.

3

# 実用ぬい

#### 38 基本的なぬい方とコツ



● 布地の角まで来たら、ストップします。

# 分を下げ、布に刺します。 針の停止位置が上のときは、針上下ボタンを押す か、ハズミ車を手前に回して針を下げます。 針の停止位置が下の場合は、そのまま手順3に進 みます。



4 押えを下げて、続きをぬいます。



# ◆厚地のぬい始め(段ぬい押えボタン の使い方)

厚地の布端からぬい始めるとき、押えが傾いてスムー ズにぬえないことがあります。押えを水平にするとス ムーズにぬい始められます。





ジグザグ押えの左側にある黒い段ぬい押えボ タンを押しながら、押え上げレバーを下げま す。



**3** ぬいをスタートさせます。 押えの傾きが水平に固定されて布が送られます。 3





# 🚺 お知らせ

押え上げレバーをさらに上げると、押えがもう一段 上がり、厚地の布が入れやすくなります。 このとき、上がった押えは固定されません。押え上 げレバーから手を放すと、押えは①で上げた位置に 戻ります。





布地が重なって、急に厚くなった部分をぬうときは、 手で布の送りを助けながらぬいます。



3

◆糸切りボタンを使わないとき 以下のような場合は、糸切りボタンを使わずに、ミシ ン左側の面板糸切りを使って糸を切ります。

針と押えを上げて布を引き出し、面板糸切りに糸を後 ろから手前にかけて切ります。

- ・ 番手が 30 番以下の太い糸を使っているとき
- ナイロン糸など特殊な糸を使っているとき
- ・ぬい端の糸を長くとりたいとき



◆下糸を長くとってぬい始めたいとき ギャザーをぬうときなど、下糸を長くとってぬい始め

たいときは、次のようにして下糸を引き上げておきま す。

 23 ページの「ボビンのセット」を見ながらボ ビンを入れ、糸をミゾに通します。
 このとき、糸は切らないでください。



伊えを上げ、上糸を軽く持ちながら、針上位置から、針上下ボタンを2回押します。

ハズミ車が手前に1回転します。 ロックが作動している場合は、先にロックを解除 します。



 上糸を静かに引くと、下糸が輪になって出て きます。



④ 上糸と下糸をそろえて押えの下から 10cm く らい後ろへ出しておきます。



**⑤** ボビンカバーを取り付けます。(23ページ参照)



# いろいろなぬい方

実用ぬいの模様を使ったいろいろなぬい方を紹介しま す。

# 地ぬいなどの直線をぬう(直線ぬい)

地ぬいなどの直線ぬいをします。4 種類の直線ぬいから、 布地に合わせて模様を選びます。

針位置が左の直線ぬい(左基線)は、端ぬいや薄物ぬいに適しています。

針位置は、ふり幅の調節で変更できます。詳しくは、 32ページの「ぬい目のふり幅/長さ」を参照してくだ さい。



実用ぬい模様	押え	
1 3 - ⊻•		ジグザグ押え(H)
2 4   ¥     □ □	OP CONTRACTOR	ジグザグ押え(H)
		直線押え

注意:ケガ防止のために; 実用ぬい模様 2、4 で直線押えを使うときは、針位 置を自動設定値から変えないでください。針が押え にあたり危険です。



直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みに くく、よりきれいに仕上げることができます。使い方 については、43ページの「薄い布や伸縮性のある布 に直線ぬいをする(直線用交換針板の使い方)」を参 照してください。



2 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせます。



ぬっている間、手は布に軽くそえるようにします。

#### ぬい終わりまできたら、ストップさせます。









直線ぬいのぬい始めに自動で返しぬいをします。

● 布を入れ、押えを下げます。



2 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせます。



ミシンは数針進んだ後、返しぬいをして、再びぬ い進みます。 ぬいを中断するには、スタート・ストップボタン を押します。(フットコントローラーの場合は、ペ ダルを放します) ぬいを中断して糸切りをしたあと、ぬいを再開し た場合は、ぬい始めの返しぬいから再びぬい始め ます。



🚯 ぬい終わりまできたら、返しぬいボタンを 1

ミシンは数針返しぬいをした後、再びぬい進み、 ぬい終わりの位置で自動的に止まります。

④ 糸切りボタンを押します。



#### ( お知らせ

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンを押しておくと、 ぬい終わりに返しぬいをした後、自動的に糸を切るよ うに設定できます。(案内窓に¥が表示されます。)

# 薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいを する(直線用交換針板の使い方)

薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをするときに直線 用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、 よりきれいに仕上げることができます。



- \*1 実用ぬい模様 7、8 はおもに伸縮強化ぬいに使用し ます。詳しくは、45 ページの「デニムなど丈夫な布 地をぬい合わせる(伸縮強化ぬい)」を参照してくだ さい。
- \*2 実用ぬい模様 9、10、11 はおもにキルトステッチ に使用します。詳しくは、46 ページの「手ぬいのよ うなキルトぬいをする(手ぬい風キルトステッチ)」 を参照してください。



えが間違っていると針が押えにあたって折れ、ケガ

をするおそれがあります。

# お願い

模様を選択し直すと、押えを確認するようメッセー ジが表示される場合があります。

・中基線の直線ぬい2、4、8、10、11から左基線の直線ぬい1、3、7、9に変更したとき以下のメッセージが表示されます。ジグザグ押えが取り付けられていることを確認してください。
 確認後、メッセージ右下の「✓」をタッチするとメッセージが消えます。



 ・ 左基線の直線ぬい1、3、7、9から中基線の直線 ぬい2、4、8、10、11に変更したとき 以下のメッセージが表示されます。直線押えが取 り付けられていることを確認してください。



- 標準交換針板の取り外し方
   針上下ボタンを押すか、ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。
   ハズミ車のマークが上にきます。
- 2 電源スイッチを切ります。
- 伊え上げレバーを上げ、押えを取り外します。 押えの取り外し方については、「押えの取りかえ方」 (27ページ)を参照してください。



 付属の針板用ドライバーを使って、交換針板
 ストッパーレバーを回転が止まるところまで (約30°)時計回りに回します。

#### お願い

交換針板ストッパーレバー③を強く回しすぎな いでください。破損する恐れがあります。



⑤ 浮き上がった標準交換針板の右側を持ち上げ て、取り外します。



#### お願い

標準交換針板が送り歯に強くあたらないように 注意してください。送り歯が欠けたりつぶれた りする恐れがあります。

# **|**メモ

直線用交換針板を取り外す場合も、同じ要領で行って ください。

◆直線用交換針板の取り付け方

🚹 直線用交換針板の左側にあるツメをミシン本 体に差し込みます。



#### お願い

直線用交換針板が送り歯に強くあたらないよう に注意してください。送り歯が欠けたりつぶれ たりする恐れがあります。

🕥 浮き上がっている直線用交換針板の右側を下 に押し、はめ込みます。



🚺 お知らせ

カチッという音がするまでしっかり押してくださ ().

#### お願い

押えを取り付けたあと、電源を入れ、模様を選 んでから、ハズミ車をゆっくり手前に回して、 針が押えと直線用交換針板にあたらないことを 確認してからぬい始めてください。

#### ーメモ

標準交換針板を取り付ける場合も、同じ要領で行って ください。



# 手ぬいのようなキルトぬいをする(手 ぬい風キルトステッチ)

手でぬったような風合いのキルトぬいができます。 上糸に透明なナイロン糸や、目立たない糸を使い、下 糸にキルト布地に合う配色の糸を使います。 糸調子を強くして(34 ページ参照)、下糸が布の表側 に出るようにすると、手でぬったような風合いのキル トぬいができます。





#### ( お知らせ

- 糸調子を強くするぬいなので、普通地、厚地の布 にだけお使いください。
- ・実用ぬい模様10、11を使用する場合に、直線用 交換針板と直線押えを使うと、布が針板の穴に沈 み込みにくく、よりきれいに仕上げることができ ます。使い方については、43ページの「薄い布や 伸縮性のある布に直線ぬいをする(直線用交換針 板の使い方)」を参照してください。

∕♪ 注意:ケガ防止のために;

実用ぬい模様10、11 で直線押えを使うときは、針 位置を自動設定値から変えないでください。針が押 えにあたり危険です。



# 布地をはぎ合わせる(ジグザグぬい)

ぬい目長さ、ふり幅を調整していろいろな形のジグザ グぬいができます。





布地のはぎ合わせやふちかがりなどのほか、飾りぬいにも広く用いられます。

ふちかがりぬいについては、48ページを参照ください。



13 密着ぬい( しをぬう場合には、サテン押えをお使い ください。



やぶれた布地をつくろう(点線ジグザグ ぬい)

やぶれた布地のつくろいぬいや、ゴムひものぬい付けなどができます。





●つくろいぬい

ぬい目の長さを細かくしてぬいます。



ゴムひも付け
 ゴムひもを前後に伸ばしながらぬい付けます。



# アップリケをぬい付ける

市販や自作のアップリケ布を丈夫にぬい付けます。



実用ぬい(いろいろなぬい方)





のりづけまたはしつけをします。



🕥 アップリケの布端をたち目かがりと同じ要領

カーブの強いものは、ふり幅を小さくします。

● 急な角度をぬう場合

布端に針を落とした状態で押えを上げ、布地を回しま す。



## **布地のたち目をかがる**(ふちかがりぬい /たち目かがりぬい)

あらゆる布地のたち目のほつれを防ぎます。



# ◆模様と押えの使い分け 模様と押えは目的に応じて使い分けてください。

④ジグザグぬいでほつれ止めをしたい
 ⑧かがりぬいと地ぬいを同時にしたい
 ⑥普通地のほつれ止めをしたい

ジグザグ押えを使用する場合: 針が布端ぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。

ふちかがり押えを使用する場合: 布端を押えのガイドにあて、針が布端いっぱいに落ちる ようにしてぬいます。



#### /♪ 注意:ケガ防止のために; ふり幅:自動設定値以上 針が押えにあたると危険です。ふちかがり押えを使用 するときは、以下のことを守ってください。 必ずふり幅を自動設定値以上にしてお使いくださ い。また、ぬう前には必ずハズミ車をゆっくり手 前に回して、針が押えにあたらないことを確認し てください。 反転/伸長の設定は変更しないでください。 Ø ①厚地や伸縮性のある布地のほつれ止めをしたい ⑥小さい幅のジグザグでほつれ止めをしたい 針が布端ぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。 実用ぬい模様 押え う お知らせ 14 22 ジグザグ押え(H) ツメが布にからむことがあります。 小さい幅の $\leq$ ジグザグ 険です。 ◆ぬい方

#### Aジグザグぬいでほつれ止めをする

 $\frac{1}{2}$ ふり幅:自動設定値以上

たち目のほつれ止めとして、広く利用できます。



(1) お知らせ

ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合は、 ジグザグ押えを使用してください。ふちかがり押 えを使うと、針が押えにあたり、危険です。

# Bかがりぬいと地ぬいを同時に行う

かがりぬいと地ぬいが同時にできるぬいです。



- タオル地や目の粗いニット地などをぬうとき は、ジグザグ押えをお使いください。押えの
- ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合 は、ジグザグ押えを使用してください。ふち かがり押えを使うと、針が押えにあたり、危

# © 普通地のほつれ止めをする

17 18 19 20 21



# お知らせ

ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合は、 ジグザグ押えを使用してください。ふちかがり押 えを使うと、針が押えにあたり、危険です。



実用ぬい(いろいろなぬい方)

(E)小さい幅のジグザグでかがる
 <sup>12</sup>
 小さい幅のジグザグ



あらかじめ布地の内側をぬい、あとからぬい端を切り落とす方法もあります。この場合、ぬい糸を切らないように注意してください。



**すそ上げをする**(まつりぬい/ブライン ドステッチ)

布地の表面にぬい目を目立たせずに、ズボンやスカー トのすその仕上げなどをします。





# 布を出来上がり線で折り、図のように布端が 5mm 出るように折り返します。

普通地・厚地



薄地の場合、布端をあらかじめ 1cm 中に折り込ん でから、5mm出るように折り返します。 ぬい上がり後の布地の裏・表を間違えないように 注意してください。

> 薄地 折り返す 1¢m 出 来上がり線 表 裏 5mm 裏 諘



🕥 折り山を押えのガイドにあてます。



分が最も左側にきたときに折り山にわずかに 刺さるようにガイドの位置を調節します。 ネジを手前に回すとガイドは右に、向こう側に回 すとガイドは左に移動します。

# メモ

針上位置で模様を選ぶと、針は最も左側にくるよ うになっています。



④ 折り山をガイドにあてながらぬいます。









ゆい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏側に 出し、上糸と下糸を結びます。



ゆい終わったらドロップフィードレバーを右
 に戻しておきます。



**)** Xモ

4 つ穴のボタンをぬい付けるときは、最初の 2 つ穴と 後の 2 つ穴を、ぬい目を平行にしたり、交差させた りしてぬい付けます。

最初の2つ穴を、2つ穴のボタンと同じ要領でぬいま す。

その後、押えをわずかに上げて布地を動かし、残りの 2つ穴をぬい付けます。



●ボタンに糸足を付ける(根巻き付きボタン 付け)

コートやジャケットのボタンに糸足を付けるときは、布 地とボタンの間にスキマが空くようにしてぬい、手で糸 を巻き付けます。









52ページの「ボタンをぬい付ける」の要領で ボタンをぬい付けます。 まち針の上からぬいます。



4 まち針を抜き、上糸を長めに残して切ります。



ら ぬい始めと終わりの上糸をボタンと布の間に 引き出します。



両端の上糸をボタン足に反対方向に巻き付け
 て結びます。
 マボクション
 ローン
 マボクション
 ロン
 ロン
 ローン
 ロン
 ローン
 ローン
 ロン
 ロ

下糸の両端は、布の裏側で結びます。



# ボタンホールを作る

13 種類のボタンホールをぬうことができます。布地や 用途によって使い分けます。

ふり幅を調整することでボタンホールの幅を変更でき ます。実用ぬい模様 50 ~ 52、55 ~ 61 は 3 段階、53 と 54 は 2 段階で変更できます。ふり幅の調整方法につ いては、32 ページの「ぬい目のふり幅/長さ」を参照 してください。

#### 】 メモ

玉ぶちボタンホールのぬい方は、57 ページを参照し てください。

#### ; お知らせ

- ボタンホール押えとアンダープレートは、補助テーブルの後ろ側に収納してあります。
- 薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。
- ・必ず実際にぬう布地と同じ布地で試しぬいをして、 仕上がりを確認してください。
- 薄地や送りにくい布、布端などのぬいにくい部分 にボタンホールをぬうときは、アンダープレート を使用してください。詳細は56ページの「アンダー プレートの使い方」を参照してください。

#### 使用例は参考です。

	実用ぬい模様	押え
50 51	薄地~普通地 使用例:シャツ、ブラウス など	
	普通地~厚地 使用例:ジャケット、コー トなど	
55 56		
57 58 ℁ <sup>川</sup> Ⅲ派	薄地~厚地 使用例:シャツ、ブラウス など	ボタンホール押え(F)
59 新日日日日		
	使用例:開き見せなどの飾 りボタンホール	

布地のボタンホールをぬう位置に印を付けます。



## ズ ボタンを押えの台にセットします。



台にボタンがのらないとき
 台の幅が「ボタンの直径+ボタンの厚み」になる
 ようにスライドさせます。

# 上糸を押えの穴に通し、左側に出しておきます。 す。



下糸を引き上げているときは、下糸も左側に出し ておきます。

<text><text><text><text><text>



( お知らせ

ボタンホールレバーをきちんと下げないと、お知 らせランプが赤く点灯し、2~3 針ぬって止ま ります。

ᢙ 上糸を軽く持ちながら、スタートさせます。



図の順序でボタンホールがぬわれていきます。 ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。





# う お知らせ

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンをタッチしておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。(案内窓に↓が表示されます。)

# 伊えを上げて、布を外します。



ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げて 押えの枠を一番手前に戻してください。

🕦 シームリッパーでボタン穴を切り開きます。

#### ᡗ 注意:ケガ防止のために;

シームリッパーで穴を開くとき、リッパーの先端 に手や指を置かないでください。すべったときケ ガをする恐れがあります。



ぬい糸を切らないように注意してください。 かん止めのところにまち針を刺しておくと、切り 過ぎがありません。



# ◆アンダープレートの使い方

アンダープレートを使うと、薄地や送りにくい布、布 端などのぬいにくい部分にもスムーズにボタンホール をぬうことができます。

# アンダープレートを押えの下から差し込んだ まま、押えホルダーに取り付けます。



2 布を押えの枠とアンダープレートの間に入れてはいます。



# 玉ぶちボタンホールを作る

玉ぶち布をボタンホールの穴にぬい付けて、ボタンホー ルのふちを作る方法です。糸でふちをぬう一般的なボ タンホールと違って、ぬい目がみえません。女性のド レスやスーツのボタンホールに使われます。



ふり幅調整で、幅を4段階に変えられます。



ボタンホールの中心線に玉ぶちの布の中心線 が合うようにしつけます。



玉ぶち布の大きさは、ボタンホールの長さ +1cm 以上、幅 2.5cm 以上





図の順序でぬわれていきます。

 糸切りボタンを押します。押えを上げて、布 を外します。



ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げて 押えの枠を一番手前に引いてください。

#### : お知らせ

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンを押してお くと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的 に糸を切るように設定できます。(案内窓に¥が 表示されます。)

④ ぬい目を切らないように注意して、Y字形に 切り込みを入れます。



しつけをとります。

# 5 玉ぶち布を切り込みの穴から布地の裏側に出します。







🕦 玉ぶち布が大きすぎるときは、ボタンホール より1cm くらい大きめにたち落とします。



(1) できあがり。



#### 1 お知らせ

布地が弱い場合は、あらかじめ布地の裏のボタンホー ルをぬう位置にボタンホールの長さより2cm 長く、 幅3cmくらいの接着芯をつけておきます。



ポケットロややぶれた生地を補強す る(かん止め/つくろいぬい)

かん止めで、ポケットロやベルト通しなど力が加わり やすいところを補強します。 つくろいぬいで、やぶれたり、薄くなった布地を補強 します。





かん止め(実用ぬい模様 63)のぬい目のふり幅は5段 階、長さは8段階で変更できます。つくろいぬい(実 用ぬい模様64)のふり幅、長さは変更できません。 調節のしかたについては、32 ページの「ぬい目のふり 幅/長さ」を参照してください。 調節の設定値については、103ページの「模様一覧」 を参照してください。

● ぬいたいかん止めやつくろいぬいの長さ@の 分だけ、押えの台をスライドさせます。







下糸を引き上げているときは、下糸も左側に出し ておきます。

と ない始めの位置が向こう側になるように、布 を押えの下にセットして、押えを下げます。



押えの枠と押えの間にスキマができないよう、枠 を一番手前に引いてください。

#### 】 メモ

厚い布のポケットロのかん止めをぬうには、厚紙をポ ケットの横にそえるとぬいやすくなります。



ボタンホールレバーをいっぱいに下げます。



# う お知らせ

ボタンホールレバーをきちんと下げないと、お知 らせランプが赤く点灯し、2~3針ぬって止ま ります。



③ 図の順序でかん止めやつくろいぬいがぬわれていきます。



ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。





#### う お知らせ

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンをタッチし ておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自 動的に糸を切るように設定できます。(案内窓に ¥ が表示されます。)

# 🚯 押えを上げて布を出します。



かん止めやつくろいぬいをもう一度ぬうには、押 えを上げて押えの枠を一番手前に戻してください。 いろいろな装飾をぬう(実用ぬい模様を 使った飾りぬい)

実用ぬい模様を使って装飾的な模様をぬうことができ ます。ストップするまで選択した模様を繰り返しぬい ます。模様に適した押えが模様案内窓に表示されます。

### お知らせ

飾り模様・文字ぬいでは、模様を組み合わせた装飾を ぬうことができます。飾り模様・文字ぬいについては、 68ページの「第4章 飾り模様・文字ぬい」を参照 してください。



# お願い

薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬって ください。



各模様に適した押えが模様案内窓に表示されます。 反転ぬいや、伸長(2倍ぬい)で形を変えてぬうこと ができます。(33ページ参照)



ファスナーをぬい付けます。





注意:ケガ防止のために; ファスナー押えを使用するときは、必ず実用ぬい模様2() を選び、針位置は自動設定値から変えないでください。また、ぬう前には必ずハズミ車をゆっくり手前に回して、針が押えにあたらないことを確認してください。ほかの模様、針位置では、針が押えにあたり危険です。

#### () お知らせ

直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みに くく、よりきれいに仕上げることができます。使い方 については、43ページの「薄い布や伸縮性のある布 に直線ぬいをする(直線用交換針板の使い方)」を参 照してください。

# ◆つき合わせ

つき合わせた布地の両方に、ファスナーをぬい付けた ぬい目が入るぬい方です。

● 中表にして、あき止まりまで地ぬいをします。



あき部分はしつけをします。

😢 ぬい代をわり、ファスナーをしつけます。



ぬい目線とファスナーの中心を合わせてとめます。 スライダーは手前に倒します。



ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側のミ ゾを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、左 側のミゾをホルダーに入れます。



#### 上の布を開き、あき止まりと右側をぬいます。



右側は、布の折り目から 0.7 ~ 1cm 離してぬいま す。

る スライダーの手前で止め、しつけを取り、ス ライダーを下げて残りをぬいます。



- スライダーをよけてぬうには
- スライダーの手前でミシンを止めます。 針を下げ、布に刺します。
- 🕥 押えを上げます。
- スライダーを向こう側へ下ろします。
- ④ 押えを下げてぬい続けます。



# ふち飾りをぬう (スカラップステッチ)

テーブルクロスやブラウスのえりなどのふち飾りをぬ います。





● スカラップ1 (実用ぬい模様 31))

▲ 布を中表に折り、その端にそってぬいます。





A ぬい目にそって 0.3cm のぬいしろをとって切 り取り、ぬいしろに切り込みを入れます。



 布を表に返して、ぬい目の山を表に押しだし、 アイロンで仕上げます。



- スカラップ2(実用ぬい模様 32 ))
- ▲ 布端に模様がかからないように端を残してぬ います。



布を切ります。



布地をぬい合わせてパッチワークをす る

いろいろな布をはぎ合わせます。ぬい目の模様も装飾 になります。





2枚の布地を中表に合わせ地ぬいをします。



🕗 ぬい代をわります。







ビニールやレザーをぬう 67

3

実用ぬい(いろいろなぬい方)

# 第4章 飾り模様・文字ぬい

飾り模様・文字ぬいのぬい方を説明します。

飾り模様・文字ぬいでぬうことができる模様は、飾り模様、ひらがな、カタカナ、漢字の横書きと縦書き、アルファ ベットのブロック体と筆記体の9つのグループに分けられます。

飾り模様と文字を組み合わせてぬったり、その組み合わせを連続してぬったりすることができます。

このミシンでぬえる飾り模様と文字については、トップカバーの内側と、この取扱説明書の 103 ページの「模様一覧」 を参照してください。



68 飾り模様・文字の選び方



🔒 ぬいたい飾り模様・文字が表示されるまで、 前ボタン (本) または次ボタン (本) をタッ チします。



🕢 ぬいたい飾り模様・文字をタッチします。 選ばれた飾り模様・文字が画面の左上に表示され ます (プレビュー画像)。



#### 🚹 お知らせ

飾り模様を選んだ場合、画面に表示される模様 の単位と実際にぬわれたり記憶されたりする模 様の単位は異なる場合があります。各模様のぬ われる単位・記憶される単位は、103ページの 「模様一覧」を参照してください。また、模様の 記憶については 75 ページの「飾り模様・文字の 呼び出し」を参照してください。

画面表示:

ぬわれる単位

\*

・記憶される単位:

局 手順1~4と同じ要領で次にぬいたい飾り模 様・文字を選んでいきます。

- ・ 戻るボタンをタッチすると、グループ選択画面 に戻ります。
- ・選ばれた飾り模様・文字が画面左上に順番に表 示されていきます。

#### : お知らせ

- 飾り模様・文字は60個まで選ぶことができ ます。
- ・
   画面に表示しきれなくなると、
   先頭の
   模様
   か
   ら順に表示が消えていきます。表示が消えた 模様を再度表示させる方法は、70ページの「飾 り模様・文字の確認」を参照してください。
- ホーム画面まで戻っても、飾り模様・文字ボ タンをタッチすれば、選んだ模様・文字が再 表示されます。



#### 飾り模様・文字の選び方 69

#### ◆飾り模様・文字の確認

選んだ飾り模様・文字は一時的に記憶されます。飾り 模様・文字を複数選んでいくと、案内窓に表示しきれ なくなり先頭の飾り模様・文字から順に画面から消え ていきますが、模様選択の前ボタン(▲) /次ボタン (▼)を使って確認することができます。

- A.前ボタン(▲)をタッチすると、1つ前の飾り模様・ 文字がグレー表示されます。(グレーの四角形) 前ボタンをタッチするごとに1つずつ前に移動しま す。
- B.画面の一番上まできたら、その前に記憶した飾り模 様・文字が現れます。
- C.最初に記憶した飾り模様・文字まできたら、ピピピッ と鳴ってお知らせします。
- D.次ボタン(▼)をタッチするごとにグレー表示が1
   つずつ後ろに移動します。
- E. 画面の一番下までくると、その後に記憶した飾り模 様・文字が現れます。
- F. 記憶した飾り模様・文字の最後まできたら、グレー 表示が消え、追加選択のカーソル(横線)が表示さ れます。



σ

õ

G

łG

次^



M

 $\Diamond$ 

カーソル

# 飾り模様・文字の編集

記憶させた模様それぞれのぬい目のふり幅や長さ、反 転、伸長の設定を変えることができます。また、記憶 させた飾り模様・文字全体の糸調子を変えることがで きます。

さらに、ぬいの最後に自動で糸切りをして止まる「自動止めぬい・自動糸切り」を設定することもできます。 反転や伸長(2倍ぬい、5倍ぬい)ができる飾り模様 については、トップカバーの内側と、この取扱説明書の103ページの「模様一覧」で確認してください。

: お知らせ

文字は、ふり幅や長さ、反転、伸長の設定はできません。

#### ◆編集画面の表示方法

節り模様選択画面で、編集ボタンをタッチします。

画面が編集画面(ふり幅、長さ)に変わります。 追加選択のカーソル(横線)が表示されていると きに編集ボタンをタッチすると、その前の飾り模 様・文字がグレー表示されて、編集画面に変わり ます。



 2 前ボタン (▲)、次ボタン (▲) を使って設定 変更したい飾り模様・文字をグレー表示させ ます。



ľ

σ

0

ወ

ß

--  $\langle \rangle$
## 3 ふり幅/長さボタンA、反転/伸長ボタンB、 糸調子ボタンCをタッチして、編集画面を切り替えます。

文字や、反転/伸長を設定できない飾り模様が選 択されているときは、ボタンは表示されません。 戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に 戻ります。



## ◆モード切り替え(単独ぬい/繰り返 しぬい)、止めぬい/糸切り、ぬい目 のふり幅/長さの調節

編集ボタンをタッチすると、ふり幅/長さの設定画面 が表示されます。この画面でできることを説明します。 反転/伸長ボタン®、糸調子ボタン©をタッチすると、 それぞれの設定画面に切り替わります。

戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻り ます。

## ●モード切り替え(単独ぬい/繰り返しぬい)

モード切替ボタン(Cア)をタッチすると、単独ぬい と繰り返しぬいが切り替わります。 タッチするごとに、画面の表示が切り替わります。 詳細は、80ページの「飾り模様・文字のぬい方」を参 照してください。

- ▶: 単独ぬい
- ◆: 繰り返しぬい



1 お知らせ

- ・初期設定は繰り返しぬいです。
- ・飾り模様を2つ以上選んだ場合か、文字を選んだ場合は、自動的に単独ぬいに切り替わります。
- ・止めぬい/糸切りを設定すると、自動的に単 独ぬいに設定されます。詳細は、81ページの 「ぬい終わりのモード切り替え(単独ぬい、単 独止めぬい/単独糸切りぬい、繰り返しぬい)」
- ホーム画面に戻ると、飾り模様・文字の選び 方に応じた自動設定に戻ります。

#### ●止めぬい/糸切り

止めぬい/糸切りボタン( / / / )をタッチすると、止めぬいと糸切りの設定ができます。

- 止めぬい:止めぬい/糸切りボタンを1回タッチします。画面に が表示されます。ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。
- 止めぬい・止めぬい/糸切りボタンを2回タッチし
- 糸切り: ます。画面に ¥ が表示されます。ぬい 始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをし て、糸切りをします。

取り消し:3回タッチすると設定が取り消されます。



## i お知らせ

- ・繰り返しぬいが設定されているときに、止め ぬい/糸切りボタンをタッチすると、自動的 に単独ぬいに切り替わります。止めぬい/糸 切りが設定されているときは、繰り返しぬい はできません。詳細は81ページの「ぬい終 わりのモード切り替え(単独ぬい、単独止め ぬい/単独糸切りぬい、繰り返しぬい)」を参 照してください。
- ホーム画面に戻ると設定は解除されます。

#### ●ぬい目のふり幅/長さ

エボタン/■ボタンでふり幅/長さを調整します。
 選んだ他の飾り模様のふり幅/長さを調整するには、前ボタン(▲)、次ボタン(▼)で選択し、グレー表示させます。
 自動設定値は緑色で表示されます。
 画面の一番上には、適切な押えと針停止位置が表示されます。

ふり幅 a1:狭くなる a2:広くなる 長さ a3:細かくなる a4:粗くなる



#### う お知らせ

- ・文字は、ぬい目長さ、ふり幅を変えられません。
- ・最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお 知らせします。(操作音が鳴らないように設定 した場合は鳴りません。詳しくは15ページ の「設定ボタン」を参照してください)

◆反転/伸長

反転/伸長ボタンをタッチすると、反転/伸長の設定画 面が表示されます。自動設定値は緑色で表示されます。



## ●反転(左右/上下)

模様を左右や、上下に反転した形でぬうことができま す。

模様をグレー表示させたときに反転ボタンが表示されたら、その模様は、反転ぬいができます。 反転ボタンをタッチするごとに、表示(@)が変わり、 ぬいが反転します。

- 1. もとの設定(緑色の表示)
- 2. 左右反転
- 3. 上下反転
- 4. 上下左右反転



上下左右反転						
もとの設定	左右反転	上下反転	上下左右反転			
Ĩ	Ĩ	Ŋ	Q			

#### ●伸長(2~5倍)

伸長ボタンが表示が表示される模様は、ぬいの長さを 2倍~5倍まで伸ばしてぬうことができます。 このボタンをタッチすると、模様の長さが2~5倍に 伸ばしてぬうことができます。ボタンをタッチするご とに2~5倍に伸びていきます。ボタンをタッチする ごとに表示(⑥)が変わります。 画面の一番上には、適切な押えと針停止位置、設定さ

国面の一番上には、適切な押えと釘停止位直、設定されているふり幅/長さ、糸調子が表示されます。
幅/長さボタン@、糸調子ボタン◎をタッチすると、そ

れぞれの設定画面に切り替わります。 戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻り ます。

- 1. もとの設定(緑色の表示)
- 2.2倍ぬい
- 3.3倍ぬい
- 4.4倍ぬい
- 5.5倍ぬい



🚺 お知らせ

・模様によって伸長できる数値は異なります。 103ページの「模様一覧」を参照してください。
・伸長できない模様は、伸長ボタンが表示されません。

#### ◆糸調子

糸調子ボタンをタッチすると、糸調子の設定画面が表 示されます。選んだ飾り模様・文字全体の糸調子を調 整できます。

自動設定値は緑色で表示されます。 画面の一番上には、適切な押えと針停止位置、設定さ れているふり幅/長さが表示されます。 幅/長さボタン@、反転/伸長ボタン®をタッチする と、それぞれの設定画面に切り替わります。 戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻り ます。



- ③: 強くなる
- (b): 弱くなる

🚺 お知らせ

ホーム画面に戻ると自動設定値に戻ります。

## ◆飾り模様・文字の挿入

あとから、任意の位置に飾り模様・文字を追加できます。

 ① 前ボタン(▲)、次ボタン(▲)を使って、挿 入したい部分の次の模様・文字をグレー表示 させます。



2 挿入したい飾り模様・文字を選びます。 グレー表示された飾り模様・文字の前に挿入され ます。



## ◆飾り模様・文字の削除

選んだ飾り模様・文字を削除したいときは、削除ボタ ンを使います。

前ボタン(▲)、次ボタン(■)を使って、削除したい飾り模様・文字をグレー表示させます。



🕥 削除ボタンをタッチします。

グレー表示された飾り模様・文字が削除され、次 の模様・文字がグレー表示されます。



● 一番最後の飾り模様・文字を削除する カーソル(一)が一番下にある場合、その直前の 飾り模様・文字が削除されます。



## ● まとめて削除する

削除ボタンを長押し(0.5 秒以上)すると、すべての飾り模様・文字が削除されます。



## ◆飾り模様・文字の呼び出し

選んだ飾り模様・文字は一時的に記憶され、実用ぬい をぬった後からでも呼び出せます。

実用ぬいをぬった後、飾り・文字ボタンをタッチ します。



 $\bigvee$ 

グループ選択画面が表示され、記憶していた飾り模様・ 文字が呼び出されます。



## i お知らせ

- ・変更した糸調子は、自動設定値に戻ります。
- モード切り替え、止めぬい/糸切りの設定は解除 されます。
- 記憶した飾り模様・文字をすべて削除するには、
   削除ボタンを長めにタッチします。(74ページの
   「飾り模様・文字の削除」参照)
- 電源を切ると記憶された飾り模様・文字はすべて 削除されます。電源を切っても、再度使うときに 読み出せるようにするには、メモリー保存をしま す。詳しくは、76ページの「メモリー保存と読み 出し」を参照してください。

## ◆ぬいあがりを確認する

組み合わせた模様や文字のぬいあがりの状態を画面で 確認することができます。

**グループ選択画面を表示させます**。 各グループの模様の選択画面で戻るボタンをタッ チすると、グループ選択画面が表示されます。





● 画面左側に表示されたぬい上がりの状態を確
認します。



## 🗋 🛛 Ŧ

- ぬい上がり確認ボタンをもう一度押すと、通常の表示(手順2の画面)に戻ります。
- ぬい上がり確認画面のままでもぬいをスタートできます。このとき、グレー表示されている模様からぬい始めます。(80ページ参照)

## i お知らせ

- ぬい上がりの状態は、イメージです。実際のぬい 上がりとは、若干異なります。
- ・組み合わせた飾り模様・文字、模様のふり幅、長さ、 反転、伸長の状態によって、ぬい上がりの形は変 わります。
- ・ 選んだ飾り模様・文字の一部しか表示されていないときは、画面左側の前ボタン(▲) / 次ボタン(▼)で移動して表示させることができます。

## メモリー保存と読み出し

## ◆選んだ飾り模様・文字をメモリーに 保存する

このミシンは、組み合わせた飾り模様・文字を4種類 までメモリーに保存することができます。 この組み合わせは、ミシンの電源を切っても保存され ています。

## ) XŦ

保存できる設定内容は以下のとおりです。

- ・ふり幅/長さ
- 反転/伸長

保存する飾り模様・文字を選び、模様/文字 選択画面のメモリー保存ボタンをタッチしま す。

メモリー画面に切り替わり、4 つのファイルボタン が表示されます。





## ファイルボタンをタッチします。

選択したファイルボタンはハイライト表示されま す。

グレーの ファイルは空です。

緑色の ファイル: 飾り模様・文字が保存されています。 保存されている飾り模様・文字の先 頭の模様が表示されます。



## 🚯 保存ボタンをタッチします。

保存が完了するとメッセージが表示されます。(100 ページ参照)

ファイルボタンの表示が緑色に変わり、保存され ている飾り模様・文字の一部が表示されます。



#### ●上書き保存する

すでに飾り模様・文字が保存されているファイルボタ ンを選択し上書きしようとすると、確認画面が表示さ れます。

上書き保存する場合は「**、**」、とりやめる場合は「**×**」 をタッチします。



## ◆メモリーに保存した飾り模様・文字 を読み出す

#### ホーム画面でメモリー読み出しボタンをタッ チします。

メモリー画面が表示されます。

飾り模様・文字が保存されているファイルは緑色 で表示されています。保存されている飾り模様・ 文字の先頭の模様が表示されます。







**)** X E

各グループの模様/文字選択画面のメモリー保存 ボタン(📥)から読み出すこともできます。

2 読み出したいファイルボタンをタッチします。 選択したファイルボタンはハイライト表示されます。



読み出しボタンをタッチします。

読み出された飾り模様・文字が画面左側に表示されます。

読み出した飾り模様・文字は、ぬったり、追加・ 削除したり、ふり幅/長さや反転/伸長を編集し たりできます。





 $\sqrt{}$ 

## ●置き換えの確認

他の飾り模様・文字を選んだ状態で読み出しボタンを タッチすると、表示の置き換えの確認画面が表示されま す。読み出す飾り模様・文字に置き換える場合は「✔」、 とりやめる場合は「¥」をタッチします。



## ◆メモリーに保存した飾り模様・文字 を編集する

読み出した飾り模様・文字に対して、ふり幅/長さ、反 転/伸長の設定、糸調子の調節、単独ぬい/繰り返し ぬいのモード切り替え、止めぬい/糸切りの切り替え、 飾り模様・文字の挿入・削除などができます。

▲ 編集したい飾り模様・文字を読み出したら、 戻るボタンをタッチします。

読み出しの手順は、77ページの「メモリーに保存 した飾り模様・文字を読み出す」を参照してくだ さい。





()

4

😢 グループ選択画面で、いずれかのグループの ボタンをタッチします。

ぬい上がり確認ボタンは除きます。 ここでは、飾り模様を選びます。



編集ボタンをタッチします。



- 読み出した飾り模様・文字を編集します。
   詳細は、70ページの「飾り模様・文字の編集」を 参照してください。
- G編集した内容を保存する場合は、メモリー保 存ボタンをタッチして保存します。 詳細は、76ページの「選んだ飾り模様・文字をメ モリーに保存する」を参照してください。

## ◆メモリーに保存した飾り模様・文字 をぬう

読み出した飾り模様・文字は、読み出した画面(78ペー ジの「メモリーに保存した飾り模様・文字を編集する」 手順1)からでもぬいをスタートすることができます。 詳細は、80ページの「飾り模様・文字のぬい方」の手 順2~6を参照してください。

- ◆メモリーに保存した飾り模様・文字 を消去する
- ホーム画面でメモリー読み出しボタンをタッ チします。

メモリー画面が表示されます。







🚯 消去ボタンをタッチします。



④ 消去の確認画面が表示されたら、「√」をタッ チします。

- 消去をとりやめる場合は、「×」をタッチします。
- 消去が完了するとメッセージが表示されます。 (100ページ参照)
- 消去が完了すると、ファイルボタンはグレーで 表示されます。



## 飾り模様・文字のぬい方

飾り模様・文字のぬい方を説明します。 ミシンの準備のしかたは、19ページからの「第2章 ミシンの準備」を参照してください。



## 🚹 お知らせ

- ・ 文字をぬうときの針は、11番の針が適しています。
- ・糸は、29ページの「糸と針の選び方」を参照して 選んでください。布地に適した糸と針のうち、細 い番手のものを使うとよりきれいに仕上がる場合 があります。
- 薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬっ てください。



## ● 飾り模様・文字を選びます。

飾り模様・文字の選び方については、68ページの「飾 り模様・文字の選び方」を参照してください。

## 🛛 サテン押えを取り付けます。

押えの交換方法については、27ページの「押えの 取りかえ方」を参照してください。

🚯 必要に応じて、選んだ飾り模様・文字の設定 をします。 詳しい設定方法は、70ページの「飾り模様・文字

の編集しを参照してください。 また、単独ぬい/繰り返しぬい、止めぬい/糸切 りについては、81ページの「ぬい終わりのモード 切り替え(単独ぬい、単独止めぬい/単独糸切り ぬい、繰り返しぬい)」を参照してください。

- ・ふり幅/長さ
- 反転/伸長
- 糸調子
- 単独ぬい/繰り返しぬい
- ・止めぬい/糸切り

## ぬい始めの飾り模様・文字を選択します。

- グレー表示されている飾り模様・文字からぬい 始めます。任意の飾り模様・文字からぬい始め たい場合は、前ボタン(▲)/次ボタン(▼) で移動してください。
- カーソル(一)が表示されている場合は、先頭 の飾り模様・文字からぬい始めます。

5 実用ぬいと同じ要領でぬい始めます。 詳しくは36ページ「基本的なぬい方とコツ」の手 順2~4を参照してください。 ぬい終わった飾り模様・文字は、画面から消えて いきます。



🚯 ぬい終わったら押えを上げ、布を引き出しま す。

#### お願い

手順3で単独ぬい、単独止めぬいまたは繰り返しぬ いを設定した場合は、糸を切ってから布を引き出して ください。

## 1 お知らせ

 単独止めぬいと単独糸切りぬいが設定されている 場合は、ぬい始めとぬい終わりに止めぬいされま す。

・ 文字ぬいの場合、ぬい終わったら文字と文字の間 の余分な糸を切り取って仕上げます。



 電源を切ると記憶された飾り模様、文字はすべて 削除されます。メモリーに保存すると、電源を切っ ても組み合わせた飾り模様、文字を保存しておく ことができます。詳しくは、76ページの「メモリー 保存と読み出し」を参照してください。

## ◆ぬい終わりのモード切り替え(単独 ぬい、単独止めぬい/単独糸切りぬ い、繰り返しぬい)

飾り模様・文字をぬうときのぬい終わりには、単独ぬい、 単独止めぬい/単独糸切りぬい、繰り返しぬいの3つ のモードがあります。

飾り模様・文字の選び方によって、単独ぬいか繰り返 しぬいが自動的に設定されます。

モード切替ボタン、止めぬい/糸切りボタンをタッチ するごとにモードが切り替わり、手動で設定を変更す ることもできます。

飾り模様・	ත්	ぬい終わりのモード					
文字の選び方	単独ぬい/	止めぬい	/糸切り				
	繰り返しぬい	止めぬいを設定	止めぬい・糸切り				
	(自動設定)	۲	を設定 🖲 🐰				
飾り模様のみ	◎繰り返しぬい						
1つ	<b>C</b>	  ⑧単独止めぬい	B単独糸切りぬい				
飾り模様のみ							
2 つ以上	◎単独かい▶		á V				
文字のみ			°A				
飾り模様と文字	]						

#### i お知らせ

- ・止めぬい/糸切りを設定すると、ぬい終わりのモードは必ず単独ぬいになります。
- 単独ぬい/繰り返しぬいの設定は手動で変更できます。手動で変更した場合でも、止めぬい/糸切りの設定をすると、常に単独ぬいに設定されます。

## ●モード切り替えのしくみ

#### ④単独ぬい

文字のみを選んだとき、2つ以上の飾り模様を選んだと き、文字と飾り模様を選んだときに自動的に設定され ます。

単独ぬいが設定されているときは、案内窓に▶が表示されます。

ミシンは、選んだ飾り模様・文字を1回ぬったあと自 動的に停止します。



#### ⑧単独止めぬい/単独糸切りぬい

・単独止めぬい

止めぬい/糸切りボタンを1回タッチすると、選んだ 飾り模様・文字のぬい始めとぬい終わりに止めぬいを して自動的に停止します。案内窓には、▶と®が表示さ れます。



4

- 止めぬい/糸切りボタンを2回タッチすると、止めぬいをしたあと自動的に糸を切り停止します。案内窓に
- は、▶と●↓が表示されます。

単独糸切りぬい





- 単独止めぬい/単独糸切りぬいの場合、先頭の飾り模様・文字のぬい始めと、最後の飾り模様・文字のぬい終わりに止めぬいをします。
- 繰り返しぬいが設定されているときに、止めぬい /糸切りボタンをタッチすると、自動的に単独ぬ いに切り替わります。詳細は、81ページの「ぬい 終わりのモード切り替え(単独ぬい、単独止めぬ い/単独糸切りぬい、繰り返しぬい)」を参照して ください。

#### ©繰り返しぬい

飾り模様を1つだけ選んだときに自動的に設定されま す。

繰り返しぬいが設定されているときは、案内窓に 気示されます。

ミシンは、スタート/ストップボタンを押してストッ プさせるまで、選んだ1つまたは複数の飾り模様・文 字を繰り返しぬいます。



## () お知らせ

- ・飾り模様2つ以上、文字のみ、飾り模様と文字を 選んだ場合でも、手動で繰り返しぬいに変更でき ます。
- ・止めぬい/糸切りが設定されているときは、繰り 返しぬいはできません。解除してから繰り返しぬ いを選択してください。
- ぬいかけの状態でモードを変更するには、一度ぬいをストップします。モード切替ボタンでモードを変更し、再スタートします。

#### ●単独ぬい、繰り返しぬいでの止めぬい

単独ぬい、繰り返しぬいを選択しているときのぬい始 めとぬい終わりの止めぬいのしかたを説明します。





#### 1 お知らせ

設定した止めぬいを解除したい場合は、手順2に 進む前にもう一度返しぬいボタンを押してくださ い。止めぬいの設定が解除されます。

🕥 スタート・ストップボタンを押して止めぬい をします。

止めぬいが終わると自動的に停止します。





#### B ぬい終わりに止めぬいをする

● ぬいの途中で返しぬいボタン( 🗊 )を押し

#### ます。

返しぬいボタンを押した時点のぬいかけの模様が 最後までぬわれます。

## う お知らせ

設定した止めぬいを解除したい場合は、模様をぬ い終わる前にもう一度返しぬいボタンを押してく ださい。止めぬいの設定が解除されます。





🕥 模様をぬい終わると、止めぬいをして自動的 に停止します。

ĺ, ì



 $\mathbf{C}(\mathbf{f})(\mathbf{f})(\mathbf{f})(\mathbf{f})(\mathbf{f})$ 

● 長さの違う模様を繰り返しぬう(2 倍ぬい) 長さの違う模様を組み合わせて、繰り返しぬいます。

..... ......

● 飾り模様・文字ボタンをタッチします。







## (3) 前ボタンを3回タッチします。







**6** 編集ボタンをタッチします。



モード切替ボタンをタッチして、繰り返しぬいを設定します。







④ 伸長ボタンをタッチして2倍ぬいを設定します。



🜔 戻るボタンをタッチします。



飾り模様選択画面に戻り、グレー表示がカーソル (一)に変わります。 ぬいをスタートすると、先頭からぬい始めます。



## ● 飾り模様の組み合わせぬい

組み合わせた飾り模様を1回ぬって止まります。





🗭 飾り模様ボタンをタッチします。







👍 飾り模様(83)を選びます。



**6**飾り模様(90)を選びます。



2 つ目の飾り模様を選ぶと、モード切り替えの画面 表示が変わります。

## ●ワンポイントぬい

飾り模様を1回ぬって止まります。

例 17

● 飾り模様・文字ボタンをタッチします。







## 🚯 次ボタンを 4 回タッチします。



## 4 飾り模様(68)を選びます。



**⑤**編集ボタンをタッチします。







モード切り替えの画面表示が変わります。



#### ) メモ

モード切替ボタンでも単独ぬいに設定できます が、止めぬいはぬわれません。 文字ぬい(縦書き)

組み合わせた文字を1回ぬって止まります。

◎ たん生日





🕥 ひらがなボタンをタッチします。







❹「た」を選びます。



文字を選択すると、モード切り替えの画面表示が 変わります。

**6** 次ボタンを2回タッチします。



## ❻「ん」を選びます。







⑧ 漢字ボタンをタッチします。







## ①「生」を選びます。



## ●「日」を選びます。



● 飾り模様と文字の組み合わせぬい 組み合わせた飾り模様と文字を1回ぬって、糸切りを して止まります。











## 🚯 次ボタンを 4 回タッチします。



飾り模様・文字ぬい

**7**「D」を選びます。

🕢 飾り模様(65)を選びます。

Ф

 $\langle \rangle$ 

Ф

×

 $(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x})(\mathbf{x$ 

X

÷ 10

⑦ アルファベットボタンをタッチします。

۲

ひらがな

漢字

 $(\mathbf{S})(\mathbf{S})(\mathbf{I})(\mathbf{G})(\mathbf{f})(\mathbf{S})$ 

Φ

 $\mathbf{F}(\mathbf{F})(\mathbf{F})(\mathbf{F})(\mathbf{F})$ 

Ĩ

ABC

カタカナ

Q

3. 14 10 Ň



文字を選択すると、モード切り替えの画面表示が 変わります。 € [0] を選びます。



## ♀「G」を選びます。



🕕 編集ボタンをタッチします。





モード切り替えの画面表示が変わります。

# 戻るボタンをタッチします。 飾り模様選択画面に戻り、グレー表示がカーソル (一)に変わります。 ぬいをスタートすると、先頭からぬい始めます。

## ◆ぬい目の形の調整

飾り模様・文字ぬいをしているとき、布地の種類や厚 さなど、ぬうときの条件によってはぬい目の形がくず れてしまう場合があります。その場合は、バランス調 整ネジを使ってぬい目の形のくずれを改善します。

#### ● 調整のしかた

## ● 補助テーブルを取り外します。

詳細は、9ページの「補助テーブルの取り外し方」 を参照してください。

## ミシン底部にあるバランス調整ネジを付属の ドライバーで回します。

赤い線と外側のミゾを目安に、少しずつ回して調 整してください。



#### ●飾り模様ぬい

右の図のようなと きは、バランス調 整ネジを(+)の 方向に回します。



右の図のようなと きは、バランス調 整ネジを(-)の 方向に回します。



(+)

#### ●文字ぬい

右の図のようなと きは、バランス調 整ネジを(+)の 方向に回します。

右の図のようなと きは、バランス調 整ネジを(-)の 方向に回します。 ● 試しぬいをして、ぬい目の形の崩れが改善されたか確認します。

改善されるまで調整と確認を繰り返してください。

# 第5章 便利な機能のご紹介

別売り品を使った便利な機能をご紹介します。別売り品を使うと、ソーイングの幅が広がります。お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。



5

便利な機能のご紹介



便利な機能のご紹介

## 刺しゅう機のご案内(別売り品)

このミシンは、別売りの刺しゅう機を取り付けること によって、美しい刺しゅうぬいを簡単に楽しむことが できます。

刺しゅう機には、作品のアクセントになるさまざまな 刺しゅうや、名前によく使われる漢字などの文字刺しゅ うをたくさん内蔵しています。(内蔵している模様や文 字は、機種により異なります)

また、USB メモリ対応機種では、対応している刺しゅ うデータを USB メモリに保存し、刺しゅう機に読み込 んで刺しゅうすることもできます。

詳しくは、ミシンお買い上げの販売店、またはお客様 相談係にお問い合わせください。

◆取り付けの準備

・ミシンの電源スイッチを切ってくたさい。



 ミシンのドロップフィードレバー を左にして、送り歯を下げてくだ さい。





- ③ USB メモリ差し込み口
- ⑤ 接続プラグ
- © 接続コード

# お願い

詳しい取り付け方法は、刺しゅう機 に付属の「使用の手びき」をご覧く ださい。



刺しゅう機を取り付けた後ミシンの電源を入れると、以下のようにミシンが刺しゅうモードに切り替わります。



- ミシンの案内窓の表示が、刺しゅうモードの表示に 切り替わります。糸調子が表示され、その調節は機 能ボタンでできるようになります。
- ミシンの操作は、糸調子の調節の他にスタートストップ、糸切り、針上下/クイックスロー、スピード調節、下糸巻き、ロックの設定/解除ができます。
- ・針停止位置は上に、針位置は左になります。
- 直線用交換針板を使うと、よりきれいに仕上がる場合があります。

#### お願い

詳しい使い方は、刺しゅう機に付属の「使用の手びき」 をご覧ください。

## ◆取り外しの注意点

刺しゅうぬいが終わったら、ドロップフィードレバー を右に戻して、送り歯を上げてください。

## お願い

詳しい取り外し方法は、刺しゅう機に付属の「使用の 手びき」をご覧ください。

0000000

8

~

Ø

- -----

# 第6章 お手入れ方法/困ったときには

ミシンを快適に使っていただくための日頃のお手入れ方法や、困ったことが起きたときの対処方法を説明します。

## お手入れ方法

糸くずやほこりがたまると、ぬい上がりを悪くしたり、 故障の原因にもなります。いつも清潔にしておいてく ださい。

#### i お知らせ

このミシンのライトには、長寿命の LED ライトを使 用しています。もし、ライトが切れた場合には、ミシ ンお買い上げの販売店にご相談ください。



## ◆ミシン表面、ミシンカバーの掃除

ミシンが汚れた場合は、やわらかい布に中性洗剤を少 量含ませて、よくふき取ってください。 シンナーやベンジンなどでふかないでください。



## ◆ボビンケースの掃除

ボビンカバーとボビンを取り外し、ブラシなどで掃除 してください。



#### お願い

外がまやボビンケースには、油をささないでください。

## ◆外がまと送り歯の掃除(針板の取り 外し・取り付け)

定期的に針板を外して、中の外がまや送り歯を掃除して ください。作業しやすいように、はじめに針と押えを上 げておきます。

## ᡗ 注意:ケガ防止のために

針板を外すと、送り歯の左下に糸切り装置があります。 この内部には糸を切るための鋭利な部品が使われてい ます。安全のため、糸切り装置には、直接指で触らな いでください。

# 1 補助テーブルと針、押えホルダーを取り外します。

取り外し方はそれぞれ以下のページを参照してく ださい。

• 補助テーブル

9ページの「補助テーブルの取り外し方」

- ・ 針 30 ページの「針の取りかえ方」
- ・押えホルダー
   28 ページの「押えホルダーの取り外し・取り
   付け」

#### 🕥 ボビンカバーとボビンを取り外します。

21 ページの「ボビンの取り出し方」を参照してく ださい。



分
新
板
止
め
ネ
ジ
2
本
を
外
し
ま
す
。







よビンケースの手前を上に持ち上げて取り出 します。

> 🥂 注意:ケガ防止のために; 糸切り装置に触らないでください。ケガをする恐 れがあります。



分がまと送り歯のまわりを掃除します。

#### メモ

- 掃除機を使うときれいになります。
- ・ボビンケースの汚れはかわいた布で軽くふき取 ります。

/ 注意:

針板のセンサに触らないでください。センサが破 損する恐れがあります。



7 ボビンケースを外がまの中に手前からすべり 込ませます。

ボビンケースの凸部が回転止めのバネに当たるよ うにします。



板のピン穴をミシンのピン(手順6の図参照) に合わせて取り付けます。



## 困ったときには

ミシンを使っていて困ったことが起きたときの対処方法です。

## ◆お知らせメッセージ

ミシンが正しくない状態でスタートしようとしたときや、間違った操作をしたときには、ピピピッと警告音が鳴っ て案内窓にメッセージが表示されます。必要な処置を行ってください。(操作音が鳴らないように設定した場合は 鳴りません。詳しくは15ページの「設定ボタン」を参照してください)

	メッセージ	原因	処置	参照 ページ
1		下糸巻き中。または、糸巻き軸が 右に押されている	糸巻き軸を左に戻します。下糸巻 き中の場合は、下糸巻き完了後に 左に戻します	21
2	▲ 	模様を選ばないでスタートしよう としている	模様を選んでください	31, 68
3		押えを上げたままスタートさせよ うとしている	布地を入れ、押えを下げてぬって ください	13, 36
4		ボタンホール、かん止め、つくろ いぬいをぬい終わったのに、もう 一度スタートさせようとしている	押えを上げ、ボタンホール押えを ぬい始めの位置に正しくセットし てから押えを下げます	56, 57, 61
5		ボタンホールレバーを下げないで ボタンホールやかん止め、つくろ いぬいをスタートしている	ボタンホールレバーを下げてくだ さい	55, 57, 60
6	A Bi	フットコントローラーが接続され ているのに、スタート・ストップ ボタンを押した	コントローラーで操作するか、コ ントローラーを外してください	19
7		フットコントローラーのペダルを 踏んだまま電源スイッチを入れた か、止めぬい、ボタンホールぬい をぬい終わったのにペダルを踏ん でいる	ペダルを放してください	19
8		スタート・ストップボタンを押し たまま電源スイッチを入れた	スタート・ストップボタンを放し てください	13
9		返しぬいボタンを押したまま電源 スイッチを入れた	返しぬいボタンを放してください	13

6

お手入れ方法/困ったときには

困ったときには 97

メッセージ	原因	処置	参照 ページ
	針上下/クイックスローボタンを 押したまま電源スイッチを入れた	針上下/クイックスローボタンを 放してください	13
	糸切りボタンを押したまま電源ス イッチを入れた	糸切りボタンを放してください	13
12 <b>1</b> 2	飾り模様・文字を 60 個を超えて選 ぼうとしている	飾り模様・文字は 60 個以内で選ん でください	69
	上糸や下糸が切れたか、無くなっ た。または、糸のかけ方がおかし い	上糸または下糸を正しくかけ直して ください	23, 24
14 <b>€7 →</b> N (1)	糸切り動作のエラー	電源スイッチを切り、上糸と下糸 をかけ直してください	19, 23, 24
	直線用交換針板が取り付けられた	<ul> <li>         ・直線用交換針板を使用できる模様は、実用ぬい模様1~4、7 ~11です。模様に合った押えが取り付けられているか、確認してください。     </li> <li>         ・ふちかがり押え、ボタンホール押えは使用できません     </li> </ul>	41, 43, 45, 46, 62, 66, 67, 92, 93
	標準交換針板が取り付けられた	模様に合った適切な押えが取り付 けられているか確認してください	41~
	標準交換針板または直線用交換針 板が外されている	どちらか適切なほうの交換針板を 取り付けてください。カチッとい う音がするまで、きちんとはめ込 んでください	43~
	<ul> <li>刺しゅうモードの状態で、標準交換針板または直線用交換針板が外されている</li> <li>※刺しゅう機(別売り品)接続時のみ表示</li> </ul>	どちらか適切なほうの交換針板を 取り付けてください。カチッとい う音がするまで、きちんとはめ込 んでください	43, 94
19	直線用交換針板が取り付けられた 状態で、基本ぬいボタンのジグザ グぬい、ボタンホールぬい、また は飾り模様・文字ボタン、メモリー 読み出しボタンがタッチされた	直線用交換針板を使用していると きは、ジグザグぬい、ボタンホー ルぬい、飾り模様・文字ぬいはで きません。標準交換針板に交換し てください	43

6

お手入れ方法/困ったときには

メッセージ	原因	処置	参照 ページ
20	刺しゅうモードの状態で、標準交換針板が取り付けられた ※刺しゅう機(別売り品)接続時のみ表示	直線用交換針板から標準交換針板 に交換されたことをお知らせしま す	43, 94
21 <b>1</b>	直線用交換針板が取り付けられた 状態で、左基線の直線ぬいから中 基線の直線ぬいに模様を変更した	直線押えが取り付けられているか 確認してください	43
	直線用交換針板が取り付けられた 状態で、中基線の直線ぬいから左 基線の直線ぬいに模様を変更した	ジグザグ押えが取り付けられてい るか確認し、「✔」をタッチしてく ださい	43
23	ミシンと刺しゅう機の接続を確認 している ※刺しゅう機(別売り品)接続時 のみ表示	ミシンに刺しゅう機を取り付ける と、接続の確認が行われます。数 秒後に自動的にメッセージが消え ます	94
24 <b>C</b>	ミシンと刺しゅう機の接続に問題 が発生した ※刺しゅう機(別売り品)接続時 のみ表示	ミシンの電源を切り、刺しゅう機 を接続し直してください	94
25	ロックが作動中	<ul> <li>ロックボタンをタッチしたため、ロックが作動しています。</li> <li>ロックボタン以外の操作はできません</li> <li>ロック作動中はメッセージが表示され続けます</li> <li>ロックを解除する場合は、安全を確認し、再度ロックボタンをタッチしてください</li> </ul>	17
26	刺しゅうモードの状態で、ロック が作動中 ※刺しゅう機(別売り品)接続時 のみ表示	<ul> <li>・ロックボタンをタッチしたため、ロックが作動しています。</li> <li>ロックボタン以外の操作はできません</li> <li>・ロック作動中はメッセージが表示され続けます</li> <li>・ロックを解除する場合は、安全を確認し、再度ロックボタンをタッチしてください</li> </ul>	17, 94
	ロックが作動中にロックボタンを タッチしたため、ロック解除の確 認メッセージが表示された	ロックを解除する場合は「 <b>√</b> 」を、 解除をとりやめる場合は「 <b>メ</b> 」を タッチしてください	17

	メッセージ	原因	処置	参照 ページ
28	ABC	メモリーへの飾り模様・文字の保 存を完了した	保存が正常に完了したことをお知 らせします	76
29	× <	メモリーに保存した飾り模様・文 字を消去しようとしたため、消去 するかどうかの確認メッセージが 表示された	消去する合は「✔」を、消去しな い場合は「 <b>X</b> 」をタッチしてくだ さい	79
30	*	メモリーに保存した飾り模様・文 字の消去を完了した	消去が正常に完了したことをお知 らせします	79
31		メモリーに飾り模様・文字を保存 するときに、すでにデータが保存 されているファイルを選択したた め、上書きするかどうかの確認メッ セージが表示された	上書きする合は「✔」を、上書き しない場合は「 <b>X</b> 」をタッチして ください	76
32		飾り模様・文字を選択した状態で、 メモリーに保存したデータを読み 出そうとしたため、置き換えるか どうかの確認メッセージが表示さ れた	読み出した飾り模様・文字に置き 換える場合は「✔」を、置き換え ない場合は「 <b>メ</b> 」をタッチしてく ださい	77
33		コンピュータのエラー	電源スイッチを入れ直してくださ い。それでも同じメッセージが表 示される場合は、修理・サービス をお申しつけください	19, 123
34	System Error -WIND-	コンピュータのエラー	ミシン内部の糸巻きスイッチが故 障しています。修理・サービスを お申しつけください	123
35	System Error -RWDT-	コンピュータのエラー	電源スイッチを入れ直してくださ い。それでも同じメッセージが表 示される場合は、修理・サービス をお申しつけください	19, 123

## ◆トラブルシューティング

ミシンの調子が悪い場合は、次のことを確かめてみてください。 それでも改善されない場合や、ここに記載されている以外の不調、部品の交換、電気系統の故障の修理サービスに ついては、ご購入店または「お客様相談係」(123 ページ参照)におたずねください。

不調の状態	原因	処置	参照 ページ
1 上糸が切れる	糸のかけ方が間違っている ボビンケースに糸がからまっている 針の取り付け方が間違っている 糸調子が強すぎる 布地に対して糸が弱すぎる	正しくかけ直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 正しく付け直します 適切な糸調子に調節してください 布地と糸、針の関係を合わせます	24 95 30 34, 73 29
2 下糸が切れる	ボビンのセットが間違っている ボビンケースに糸がからまっている 外がまにゴミがたまっている	正しくセットし直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 掃除します	23 95 95
3 ぬい目がとぶ	針の取り付け方が間違っている 針が曲がっているか、先がつぶれて いる 布地に対して糸と針が合っていない	正しく付け直します 針を取りかえます 布地と糸、針の関係を合わせます (伸縮性の布地には、ニット針を使 用してください)	30 30 29
4 ぬい目にしわがよる	糸のかけ方が間違っている ボビンのセットが間違っている 針の先がつぶれている 糸調子が強すぎる	正しくかけ直します 正しくセットし直します 針を取りかえます 適切な糸調子に調節してください	24 23 30 34, 73
5 ぬい目に輪ができる	ボビンのセットが間違っている 糸のかけ方が間違っている 糸調子が正しく調節されていない	正しくセットし直します 正しくかけ直します 適切な糸調子に調節してください	23 24 34, 73
6 模様がくずれる	模様に対して押えが合っていない 上糸と下糸の糸調子のバランスが崩 れている 正送りと逆送りのバランスが崩れて いる	模様に合った押えを取り付けます 上糸の糸調子を調節してください 正送りと逆送りのバランスを調整し てください	41 ~ 34, 73 91
7 模様を選べない	直線用交換針板が取り付けられてい る	直線用交換針板を使用できる模様 (実用ぬい模様 1 ~ 4、7 ~ 11)を 選ぶか、標準交換針板に交換してく ださい	43, 103
8 糸通しができない	針が上に上がっていない 針の取り付け方が間違っている 針が曲がっている	針上下ボタンまたはハズミ車で針を 上に上げます 正しく付け直します 針を取りかえます	13, 14 30 30
9 布地を送らない	ぬい目長さが布地に合っていない 送り歯が下がっている 送り歯にほこりがかたまっている	ぬい目長さを調整します ドロップフィードレバーを右にし て、送り歯を上げます 掃除します	29, 32 14 95

お手入れ方法/困ったときには

不調の状態	原因	処置	参照 ページ
10 針が折わろ	布地を無理に引っ張っている 模様に対して押えが合っていない (針が押えにあたっている)	手は布地にそえるだけにします 模様に合った押えを取り付けます	36 41 ~
	針の取り付け方が間違っているか、 しめ方がゆるい 布に対して針が細すぎる	正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	30 29
11 回転が重く音が高い	外がまや送り歯にゴミがたまってい る	針板を外して掃除します	95
12 <b>ミシンが動かない</b>	電源プラグの差し込みが不十分である 電源スイッチが入っていない 上糸または下糸が切れたか、なく	しっかり差し込みます スイッチを入れます 上糸または下糸をかけ直します	19 19 23, 24
	なった フットコントローラーが取り付けて ある	フットコントローラーで操作するか、 フットコントローラーを外します	19
●お知らせランプ …緑に点灯 …赤く点灯	<ul> <li>糸巻き軸が右へ押されている</li> <li>・模様を選んでいない</li> <li>・押えが上がっている</li> <li>・ロックが作動したままになって いる</li> <li>ボタンホールぬい、玉ぶちボタン</li> <li>ホールぬい、かん止めぬい、つくろ いぬいで:</li> </ul>	左へ戻します ・模様を選びます ・押えを下げます ・安全を確認し、ロックを解除し ます	21 31, 68 13 17
	<ul> <li>ボタンホールレバーがきちんと 下がっていない</li> <li>ボタンホール押えが取り付けら れていない</li> </ul>	<ul> <li>・きちんと下げます</li> <li>・ボタンホール押えを取り付けます</li> </ul>	55, 57, 60 54, 57, 59



このミシンでぬえる模様の一覧です。

#### ◆実用ぬい

実用ぬいの模様の選び方は、31 ページの「実用ぬいの模様の選び方」を参照してください。 ふり幅とぬい目長さの単位は「mm」です。 自動設定値は、画面上では緑色の数字で表示されます。 ふり幅とぬい目長さは、手動で調節することもできます。 直線ぬい(実用ぬい模様 1, 2, 3, 6, 7)は、ふり幅のかわりに、ぬうときの針の位置を左右に変えることができます。 詳しくは、32 ページの「ぬい目のふり幅/長さ」を参照してください。

#### i お知らせ

- ・ 白抜きの番号の模様は、基本ぬいの模様です。基本ぬいについては、31 ページの「基本ぬいの模様の選び方」
   を参照してください。
- かっこ()内の数値は変更できません。
- ボタンホール(実用ぬい模様 50 62)、かん止め(実用ぬい模様 63)、つくろいぬい(実用ぬい模様 64)以外の模様は、 レザー押えを使用できます。
- 改良のため、設定値は変わることがあります。
- \*1 直線用交換針板を使用できます。詳細は、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする(直線用交換針板の使い方)」を参照してください。
- \*2 直線押え、ファスナー押えを使用するときは、ふり幅を自動設定値にしてください。詳細は、43 ページの「薄 い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする(直線用交換針板の使い方)」、62 ページの「ファスナーを付ける(つ き合わせ・脇あき)」を参照してください。
- \*3 ふちかがりぬい/たち目かがりぬいでふちかがり押えを使用するときは、ふり幅を自動設定値以上にしてください。詳細は、48 ページの「布地のたち目をかがる(ふちかがりぬい/たち目かがりぬい)」を参照してください。
- \*4 ふり幅の設定値によって押えを使い分けてください。詳細は、48 ページの「布地のたち目をかがる(ふちかがりぬい/たち目かがりぬい)」を参照してください。
- \*5 反転/伸長の設定によって、適切な押えが変わります。案内窓に表示される押えを使用してください。

模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ
<b>1</b> ● *	直線ぬい (左基線) ピンタック	ジグザグ押え(H)	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.8 - 5.0	_	_	_	41, 43, 66
	直線ぬい (中基線) ピンタック ファスナー付け	ジグザグ押え(H)	3.5 0.0 - 7.0	2.5				41,
 • *1		直線押え ファフナー畑ネ (E)	3.5 *2	0.8 - 5.0	_	_	-	43, 02, 66
3 ∦  - • *1	自動返しぬい付直 線ぬい(左基線)	ジグザグ押え(H)	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.8 - 5.0	返しぬい	_	_	41, 42, 43
4 1	4 1 自動返しぬい付直 	ジグザグ押え(H)	3.5 0.0 - 7.0	2.5				41,
- • *1		直線押え	3.5 *2	0.8 - 5.0		_	_	42, 43
		~			<u>.</u>		植様—	覧 103

模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ
5	伸縮ぬい	ジグザグ押え(H)	(0.0) 	2.5 1.2 - 5.0	-	-	-	45
6 VVVV-0	伸縮ぬい	ジグザグ押え(H)	(3.5) 	2.5 1.2 - 5.0	_	_	_	45
7 ≡≡≡• *1	伸縮強化ぬい	ジグザグ押え(H)	0.0 0.0 - 7.0	2.5 1.2 - 5.0	_	-	_	43, 45
8     	体物なためい	ジグザグ押え(H)	3.5 0.0 - 7.0	2.5				12 15
■ ● *1	「中和」とない	直線押え	3.5 *2	1.2 - 5.0	_	_	-	43, 45
9 -⊡⊡- %	手ぬい風キルトス テッチ	ジグザグ押え(H)	0.0 0.0 - 7.0	3.0 2.0 - 4.0	_	_	_	43, 46
10      	手ぬい風キルトス	ジグザグ押え(H)	3.5 0.0 - 7.0	3.0				12 16
*1	テッチ	直線押え	3.5 *2	2.0 - 4.0	_	_	-	43, 40
11 	手ぬい風キルトス	ジグザグ押え(H)	3.5 0.0 - 7.0	5.0	_	_	_	43 46
• *1	テッチ	直線押え	3.5 *2	1.2 - 5.0				-0, -0
<b>E</b> >	ジグザグぬい アップリケ	ジグザグ押え(H)	5.0 2.0 - 6.0	2.0				46,
$\geq$	ふちかがりぬい/ たち目かがりぬい	ふちかがり押え(C)	5.0 - 6.0 *3	0.0 - 2.5	_	_	-	48, 49
13	ジグザグぬい(密 着ぬい)	サテン押え(B)	2.5 2.0 - 6.0	0.4 0.3 - 1.0	_	-	_	46
14	点線ジグザグぬい ふちかがりぬい/ たち目かがりぬい	ジグザグ押え(H)	5.0 2.5 - 7.0	1.0 0.4 - 2.0	-	-	-	47, 49
15 ////////	伸縮強化ぬい	ジグザグ押え(H)	5.0 2.0 - 6.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-	_	45
16	飾りぬい(実用)	ジグザグ押え(H)	5.0 2.0 - 6.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-	_	61
<u>1</u> 2	ふちかがりぬい/	サテン押え(B)*5	5.5 4.0 - 7.0			左右		
	たち目かがりぬい *4	ふちかがり押え(C)	5.5 - 7.0 *3	2.6 1.4 - 2.6	-	_	-	48
r	•	ジグザグ押え(H)	4.0 - 7.0					

模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ								
18	ふちかがりぬい/	サテン押え(B)*5	5.5 4.0 - 7.0	0.0			2倍									
	たち目かがりぬい *1	ふちかがり押え(C)	5.5 - 7.0 *3	2.6 1.4 - 2.6	_	-		48								
	• 4	ジグザグ押え(H)	4.0 - 7.0				_									
19	ふちかがりぬい/	サテン押え(B)*5	5.5 4.0 - 7.0			左右										
	たち目かがりぬい	ふちかがり押え(C)	5.5 - 7.0 *3	2.6 1.4 - 2.6	-		-	48								
	*4	ジグザグ押え(H)	4.0 - 7.0			-										
20	ふちかがりぬい/	サテン押え(B)*5	4.5 4.0 - 7.0	4.0		左右										
	たち目かがりぬい *1	ふちかがり押え(C)	4.5 - 7.0 *3	1.8 1.4 - 2.6	-		-	48								
>		ジグザグ押え(H)	4.0 - 7.0			_										
21	ふちかがりぬい/	サテン押え(B)*5	5.0 4.0 - 7.0	0.0		上下左右	2倍									
たち目かがりぬ	たち目かがりぬい *4	ふちかがり押え(C)	5.0 - 7.0 *3	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	) *3 0.8 - 2.6	2.0 *3 0.8 - 2.6	0.8 - 2.6	0.8 - 2.6		_	48
	1 4	ジグザグ押え(H)	4.0 - 7.0													
22	ふちかがりぬい/ たち目かがりぬい	ジグザグ押え(H)	7.0 4.0 - 7.0	2.0 1.4 - 2.6	-	-	-	49								
23 	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	5.5 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	左右	_	61								
24		サテン押え(B)*5			4.0		左右									
	まつりぬい/フラ インドステッチ	まつりぬい (ブラインド)押え(D)	3.0 1.0 - 7.0	0.8 - 2.5	0.8 - 2.5	0.8 - 2.5	0.8 - 2.5	0.8 - 2.5	0.8 - 2.5	_	_	-	50			
25		サテン押え(B)*5				左右										
m	まつりぬい/ブラ インドステッチ	まつりぬい (ブラインド)押え(D)	3.0 2.0 - 6.0	1.8 0.8 - 2.5	_	_	-	50								
26	パッチワーク	ジグザグ押え(H)	6.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	上下	2倍	65								
27 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	上下	_	61								
28 XXXX	飾りぬい(実用) パッチワーク	ジグザグ押え(H)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-	-	61, 65								

模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ
29	飾りぬい(実用)	ジグザグ押え(H)	5.5 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	上下	2倍	61
30 	アップリケ	ジグザグ押え(H)	5.0 1.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	左右	2倍	48
31	スカラップステッチ	ジグザグ押え(H)	7.0 4.0 - 7.0	1.6 0.4 - 2.0	_	左右	2倍	64
32 (11111)	スカラップステッチ	ジグザグ押え(H)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	左右	_	64
33 	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	6.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-	2倍	61
34 _ _ _ _ _ _	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	4.0 2.0 - 6.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_	2倍	61
35 -∦ -	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	(5.0) 	(2.6) 	_	_	_	61
36     	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	5.0 1.0 - 7.0	2.6 0.8 - 2.6	_	左右	_	61
37	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	5.0 1.0 - 7.0	2.6 0.8 - 2.6	_	上下 左右	2倍	61
38	飾りぬい(実用)	ジグザグ押え(H)	5.0 1.0 - 7.0	2.6 0.8 - 2.6	_	上下	2倍	61
39	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	5.0 1.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	左右	_	61
<b>40</b>	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	5.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_	2倍	61
41	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-	-	61
42 M	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	左右	_	61
模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ
----------------------	--------------------	-------------------	---------------------------------	-----------------------------	----------------------	--------------------------	-------------	-----------
43	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_	-	61
44	飾りぬい(実用)	ジグザグ押え(H)	4.0 2.0 - 6.0	1.0 0.8 - 2.5	_	_	_	61
45	飾りぬい(実用)	ジグザグ押え(H)	5.0 4.0 - 7.0	1.0 0.8 - 5.0	_	_	_	61
<b>ട്ട</b> സസ	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-	_	61
47 55% 65 (	飾りぬい(実用)	サテン押え(B)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-	_	61
48	アイレット(はと 目穴)	サテン押え(B)	7.0 5.0 - 7.0	 	止めぬい	_	-	66
49 	ボタン付け	ボタン付け押え (別売り品)	3.0 2.0 - 6.0	 	_	_	_	52
50	ボタンホール (薄地~普通地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	-	_	54
51	ボタンホール (薄地~普通地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	-	_	54
52 ×1/111111	ボタンホール (普通地〜厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	_	_	54
53 ⊰\//ווווווו	ボタンホール (普通地〜厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 5.0	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	_	_	54
54 - N/111111  1	ボタンホール (普通地〜厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 5.0	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	_	_	54
55 3	ボタンホール (薄地~厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	-	-	54
56	ボタンホール (薄地~厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	_	_	54

模様	主な用途	押え	ふり幅 (針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	返しぬい・ 止めぬい の内蔵	反転 左右 /上下 /上下左右	伸長 (2 倍)	参照 ページ
57 州川川川康	ボタンホール (薄地~厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	-	_	54
58头************************************	ボタンホール (薄地~厚地)	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	-	_	54
59 <del>}</del>	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	2.4 2.0 - 2.6	止めぬい	-	_	54
60	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 4.0 - 6.5	2.4 2.0 - 2.6	止めぬい	-	_	54
61	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 4.0 - 6.5	2.4 2.0 - 2.6	止めぬい	_	_	54
62	玉ぶちボタンホール	ボタンホール押え(F)	6.0 3.0 - 6.0	1.6 1.0 - 2.5	止めぬい	_	_	57
63  ₩₩₩₩	かん止め	ボタンホール押え(F)	2.0 1.0 - 3.0	0.4 0.3 - 1.0	止めぬい	_	_	59
64	つくろいぬい	ボタンホール押え(F)	(1.8) 	(7.0) 	止めぬい	_	_	59

#### ◆飾り模様・文字ぬい

飾り模様・文字ぬいの選び方は68ページの「飾り模様・文字の選び方」を参照してください。 飾り模様の青色で表示された部分は、模様を選んだときに記憶される1単位です。 飾り模様・文字は60個まで記憶することができます。 ひらがな、漢字、アルファベットのグループの【】(全角スペース)、【】(半角スペース)は、1文字分空けるとき に使います。(1針ぬい進みます) ふり幅とぬい目長さの単位は「mm」です。 自動設定値は、画面上では緑色の数字で表示されます。 ふり幅とぬい目長さは、手動で調節することもできます。詳しくは、72ページの「ぬい目のふり幅/長さ」を参 照してください。 ぬい上がりの文字の形状は、模様一覧と少し異なる場合があります。 使用する押えはサテン押えです。

#### ( お知らせ

• かっこ()内の数値は変更できません。

・改良のため、設定値は変わることがあります。

#### ●飾り模様

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	<b>伸長</b> 2 倍:2 倍まで可能 5 倍:5 倍まで可能
	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	_
<b>2</b> (c-3)	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
3 * *	5.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
4	6.5 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	2 倍
5 5 5	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	2 倍
6 5 5	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	2 倍
7	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
8	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	2 倍
9	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	2 倍

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	<b>伸長</b> 2倍:2倍まで可能 5倍:5倍まで可能
10	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
11 ***********	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
12 ***	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	_
13	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
	6.0 4.0 - 7.0	2.0 1.4 - 2.6	左右	-
15	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
16	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	2 倍
	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	2 倍
19	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	2 倍
20	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
21 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	_
22	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-
	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	-
24	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	伸長 2 倍:2 倍まで可能 5 倍:5 倍まで可能
25 *	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
26	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
27 © ©	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
28	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	-
29	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	_
30	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	_
31	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
32	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
33	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
34	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	-
35	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
36	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
37 ****	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
38	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	-
39 66 6	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	-
40	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	伸長 2倍:2倍まで可能 5倍:5倍まで可能
41 €⊪€⊪-	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	_
42 ***	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
<b>43</b> ∰∰	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
44 ※X	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
45 ******	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
46 ※ ※	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
47 ※ ※	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
48 ₩ ₩	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
49	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
50	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
51 ())))))))))))))))))))))))))))))))))))	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	-
52	7.0 4.0 - 7.0	2.4 1.4 - 2.6	_	_
53 © X	7.0 4.0 - 7.0	1.4 1.4 - 2.6	上下左右	_
54	7.0 4.0 - 7.0	2.6 2.0 - 2.6	左右	_
55	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
56 ම ම	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下	_

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	<b>伸長</b> 2 倍:2 倍まで可能 5 倍:5 倍まで可能
57	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
58	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-
59	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-
60 	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-
61	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-
62	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
63	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
64	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	_
65	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
66  }	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
67	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	_
68 68	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
<b>69</b>	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
70	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	_
71 袋	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
72 <del>(</del> 3	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	-

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	<b>伸長</b> 2倍:2倍まで可能 5倍:5倍まで可能
73 - 12.	(7.0) 	(2.6) 	左右	-
74	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
75	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
76 1	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
77 & &	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
78	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
79 27	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	上下左右	-
80  }	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
82 	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	上下左右	5倍
83	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	上下	5倍
84IlliIlli.	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	5倍
85 	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	_	5倍
86  '	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	5倍
87	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	5倍

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	伸長 2倍:2倍まで可能 5倍:5倍まで可能
88 11     -11	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	上下左右	5 倍
89 <b></b>	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.4 - 1.0	左右	5 倍
90 	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
	7.0 4.0 - 7.0	1.6 1.4 - 2.6	-	-
92   <sup>     </sup>    <sub> </sub>    <sup>    </sup>	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	5倍
93	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	-	-
94 <sub>11</sub> ,1 <sup>,111</sup> ,1 <sub>11</sub>	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	-	-
95	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	-	-
96 l.	7.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	左右	_
97 	6.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
98 	6.0 4.0 - 7.0	0.5 0.3 - 1.0	_	5 倍
99յովիկիիիս	7.0 4.0 - 7.0	1.6 1.4 - 2.6	左右	_
	7.0 4.0 - 7.0	1.6 1.4 - 2.6	左右	-
101	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
102	7.0 4.0 - 7.0	0.4 0.3 - 1.0	-	-

模様	ふり幅(針位置) 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値	<b>反転</b> 左右/上下/上下左右	<b>伸長</b> 2倍:2倍まで可能 5倍:5倍まで可能
103	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
	4.0 4.0 - 7.0	2.0 1.4 - 2.6	上下	-
	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_
106	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	-	-
107	5.0 2.0 - 6.0	2.6 1.4 - 2.6	左右	_
108	7.0 4.0 - 7.0	2.6 1.4 - 2.6	_	_

●文字 ひらがな(横書き)

ひらがな 横

500ばばだざがぁっわらやまはなたさかあ61ぴびぢじぎいゃをりゆみひにちしきい72ぷぶづずぐぅゅんるよむふぬつすくう83ペペでぜげえよゐれにめへねてせけえ94ぽほどぞごぉ-ゑろいもほのとそこお

●文字 ひらがな(縦書き)

ひらがな 縦

あかさたなはまやらわっぁがざだばぱ 0 5 いきしちにひみゆりをゃいぎじぢびぴ 1 6 うくすつぬふむよるんゅうぐずづぶぷ 2 7 えけせてねへめごれゐょえげぜでべぺ 3 8 おこそとのほもごろゑ | ぉごぞどぼぼ 4 9

●文字 カタカナ(横書き)

カタカナ 横

ヴらしパバダザガァッフラヤマハナタサカア6・ピビデジギィャラリユミヒニチシキィゥ・ピビデジボイャラリユミヒニチシキイ~ 2 プブッズグウユンルヨムフスツスクウ 33ペペデゼゲェョヰレロメヘネテセケエ 94ポポドゾゴォーヱロロモー13

\_\_\_\_

● 文字 カタカナ(縦書さ)	
<u>カ9ヵナ </u> 羅 アカサタナハマヤラワッァた イキシチニヒミユリヲャィキ ウクスツヌフムヨルンユウク エケセテネヘメロレヰョェク オコソトノホモロヱーォニ	゙゙゙゙゙゙゙゙ ヺ゙゙ヂ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙ ゙゙゙゙゙゙ ヷ ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙
(##載) (4枚) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	<ul> <li>●文字 漢字(縦書き)</li> <li>漢字         (疑書き)     </li> <li>漢字 (縦書き)</li> <li>漢字 (縦書き)</li> <li>(第二)</li> <li>(第二)</li> <li>(第二)</li> <li>(11)</li> <li>(11)</li></ul>
<ul> <li>文字 アルファベット (ブロック体)</li> <li>大文字</li> <li>▲BC △</li> <li>▲ B C D E 12345</li> <li>F G H I J 6 7 8 9 -</li> <li>K L M N O +=?!@</li> <li>P Q R S T &amp; () /.</li> <li>U V W X Y , ';:</li> <li>Z □ □ _0</li> </ul>	小文字 ABC A a b c d e 12345 f g h i j 6789- k l m n o +=?!@ p q r s t &()/. u v w x y ,';: z [] [] _ 0
<ul> <li>●文字 アルファベット(筆記体)</li> <li>大文字</li> <li>▲BC a</li> <li>▲ ℬ C D &amp; 1 2 3 4 5</li> <li>承 ℬ C D &amp; 1 2 3 4 5</li> <li>ℱ S ℋ J J 6 7 8 9 -</li> <li>ℋ L ℳ N O + = ? ! @</li> <li>ℱ Q ℛ J T &amp; () / .</li> <li>ℋ V ℋ X Y , ';:</li> <li>ℱ □ □ _ 0</li> </ul>	小文字 ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC

# さくいん

#### L

LED ライト19,	95
ON/OFF の切り替え	16

#### あ

アイレット	66
厚地	
厚地のぬい始め	
アップリケ	48
案内窓	15

#### い

糸		.29
糸かけ	22,	25
糸切りボタン	13,	37
糸立て棒	21,	24
糸調子		
糸調子調節装置(内部)	7,	24
糸通し		.26
糸通しのガイド		.26
糸通しレバー		.26
糸巻き糸切り		.23
糸巻き押え	21,	24
糸巻き押え (小)	22,	25
糸巻き軸		.21
糸巻きストッパー	22,	23

### う

上糸		
上糸の準備	(上糸のかけ方)	24
上送り押え		

#### お

大型テーブル		. 12
大文字/小文字		. 68
送り歯		.14
外がまと送り歯の掃除		.95
ドロップフィードレバー		.14
押え	10,	27
押え上げレバー		.13

押え圧ダイヤル1	14
押えの取りかえ方2	27
押えホルダー2	28
お知らせメッセージ	97
お知らせランプ1	13
お手入れ方法	95
外がまと送り歯の掃除9	95
ボビンケースの掃除	95
ミシン表面、ミシンカバーの掃除	95

#### か

ガイド	16
ガイドボタン	16
返しぬい	37
返しぬいボタン13,	37
各部のなまえ	6
各部のはたらき	13
飾りぬい	61
飾り模様・文字ぬい	68
アルファベット	68
飾り模様	68
飾り模様・文字ボタン	68
カタカナ	68
漢字	68
ひらがな	68
かん止め	59

#### き

基本的なぬい方	36
基本ぬい	31
基本ぬいボタン	31
キルティング押え	92
曲線ぬい	92
キルトぬい	46

# <

繰り返しぬい8	32
グループ6	38

### こ

交換針板ストッパーレバー	44
困ったときには	
お知らせメッセージ	97
トラブルシューティング	101
ゴムひも付け(点線ジグザグぬい)	

# さ

削除ボタン	 74
サテン押え	 10

### し

シームリッパー	10
ジグザグ押え	10
ジグザグぬい	46
刺しゅう機	94
刺しゅう機接続口	8
下糸	
下糸の準備	21
下糸の巻き方	21
下糸巻き案内	22
下糸を引き上げる	40
実用ぬい	31
実用ぬいボタン	31
自動糸切り	38
自動糸調子	34
自動返しぬい付直線ぬい	42
自動止めぬい	38
伸縮強化ぬい	45
伸縮ぬい	45
伸長	
飾り模様	73
実用ぬい	34

#### す

スカラップステッチ	64
スタート・ストップボタン1	3
お知らせランプ1	3
スピード調節つまみ1	3

#### せ

設定画面変更ボタン3	3
設定ボタン1	ō

# そ

操作パネル
掃除 → お手入れ方法 を参照

# た

たち目かがりぬい	
玉ぶちボタンホール	57
単独糸切りぬい	
単独ぬい	81
段ぬい	
段ぬい押えボタン	

### ち

直線押え10,	43
直線ぬい	41
自動返しぬい付直線ぬい	42
直線用交換針板10.	43

#### つ

つき合わせ(ファスナー付け)	62
つくろいぬい	59
つくろいぬい (点線ジグザグぬい)	47

# τ

電源スイッチ	8,	19
電源の入れ方		19
電源プラグ・コード		8
点線ジグザグぬい		47
天びん (内部)	7,	25

### と

トップカバー	6
止めぬい(単独ぬい、繰り返しぬい)	83
止めぬい/糸切りボタン	
飾り模様・文字ぬい	71
実用ぬい	38
ドライバー	10
針板用ドライバー	10
トラブルシューティング	101
ドロップフィードレバー	14

#### ぬ

ぬい方向の変え方	39
ぬい目の長さ	
飾り模様ぬい	72
実用ぬい	
布地の種類	29

# ね

根巻き付きボタン付け	
------------	--

### は

ハズミ車	14
パッチワーク	
針	
針ケース	
針の取りかえ方	
針位置	
針上下/クイックスローボタン	
針停止位置	
針止めネジ	
針板	
針板用ドライバー	
針棒糸かけ	
反転	
飾り模様ぬい	
実用ぬい	33
ハンドル	8

#### び

膝上げレバー11,	20
膝上げレバー差し込み口	20
ビニール	.67
標準交換針板7,	43
ピンタック	. 66

### ふ

ファスナー押え	10
ファスナー付け	62
フェルト	21, 25
ブザー音(操作音、警告音)	15
付属品	10
ふちかがり押え	10

ふちかがりぬい (たち目かがりぬい)	48
フットコントローラー	11
フットコントローラー接続口8	3, 20
フットコントローラーの使い方	19
ブラインドステッチ	50
ブラシ	10
フリーアームでぬう	9
ふり幅	
飾り模様ぬい	72
実用ぬい	32
針位置	32
プレビュー画像	
飾り模様・文字ぬい	69
実用ぬい	32

#### $\boldsymbol{\wedge}$

編集ボタン	/	70	)
-------	---	----	---

### ほ

ホーム画面	. 15
ホームボタン	. 15
補助テーブル	
補助テーブルの開け方	9
補助テーブルの取り外し方	9
ボタン付け	. 52
根巻き付きボタン付け	. 53
ボタンホール	.54
玉ぶちボタンホール	. 57
ボタンホール押え	. 10
ボタンホールレバー6, 55, 57,	60
ボビン	
ボビンのセット	.23
ボビンの取り出し方	.21
ボビン受け	. 22
ボビンカバー	.21
ボビンカバー解放レバー	.21
ボビンケースの掃除	. 95

# ま

まつりぬい	(ブラインド)	押え	10
まつりぬい	(ブラインドス	、テッチ)	50

### み

#### め

メッセージ → お知らせメッセージ を参照	
メモリー読み出しボタン	7
面板6	3
面板糸切り40	)

## も

モード切り替え81
繰り返しぬい82
単独糸切りぬい82
単独止めぬい82
単独ぬい81
モード切替ボタン81
戻るボタン
模様一覧103
飾り模様・文字ぬい109
実用ぬい103
模様の選び方/模様の調整(基本ぬい・実用ぬ
(1)

### よ

横書き/縦書き68	3
-----------	---

# 6

ライト →	LED ライト	を参照
ランプ →	お知らせラン	ノプ を参照

#### る

ルーペ	1	,	1
ルーペ取り付け穴	1	,	1

#### れ

3	
ロックボタン	17

#### わ

脇あき(ファスナー付け)......63

定格電圧	100 V
消費電力	45 W
周波数	50Hz/60Hz
ライト	白色LED
寸 法	幅:475 mm × 高さ:300 mm × 奥行き:186 mm
重量	8.9 kg

#### 

#### ● 修理サービスのご相談

- 1 このミシンのご購入者には、ご購入店から3年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、 大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

#### 修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8年間は必要に 応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

#### ● 無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 取扱説明書に基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給 可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
  - ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
  - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - □ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 二 ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または 改造したために不調、故障または損傷したとき。
- ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

#### お問い合わせまたはご相談先(純正部品の購入方法)

ハッピージャパンミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っ ておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

# 株式会社ハッピージャパン

#### 「お客様相談係」

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号
 TEL: 03-3837-1862 FAX: 03-3837-0072
 受付時間:平日9:00~12:00、13:00~17:00
 (土・日・祝日および株式会社ハッピージャパンの休日を除く)

\* 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。

\* ハッピージャパン純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」 におたずねください。

37193 D0 FFH-8000